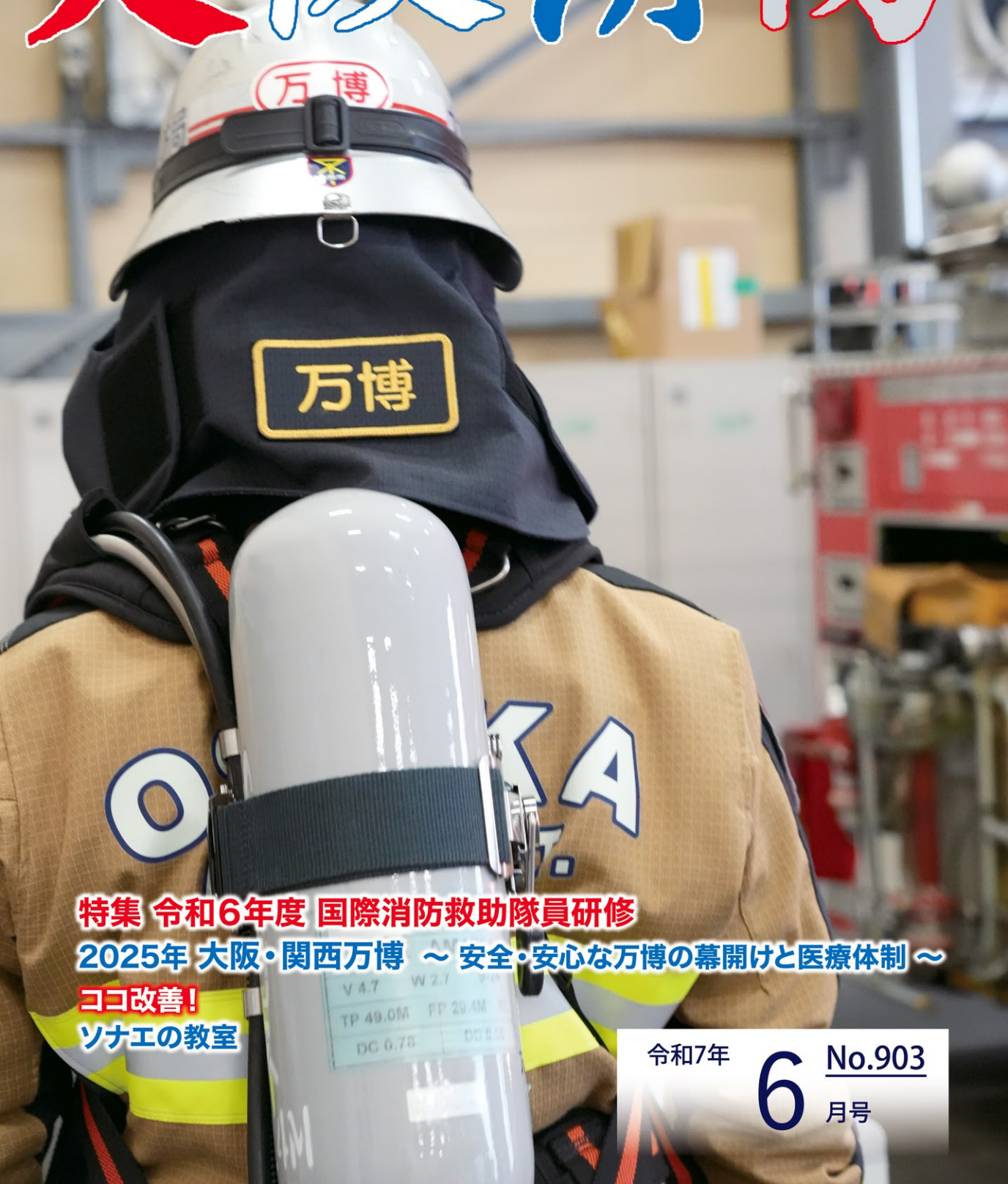


大阪消防



特集 令和6年度 国際消防救助隊員研修

2025年 大阪・関西万博 ～ 安全・安心な万博の幕開けと医療体制 ～

ココ改善！
ソナエの教室

令和7年

6

No.903

月号

都会のオアシス 観光ビル 大東洋

9F 中華料理 大東洋 最大270名

7F カプセルホテル (男性専用)

6F メンズサウナ&スパ

5F 大浴場 露天風呂 快適空間

4F 本格派サウナ『ロウリュ』実施!

3F カプセルホテル (男性専用)

2F カプセルホテル (女性専用)

1F エントランス 総合受付

B1 レディスサウナ&スパ

B2 岩盤浴*豊富なリラクゼーションMENU

併設 梅田バッティングドーム リアルピッチャー!



代表番号 06-6312-7521

団体割引適用で割安!

※④を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために!

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者のための保険

① 30%

消防職員傷害保険

傷害総合保険

募集時期 7月～8月 1月～2月 2月～4月 (新採用プラン)

② 30%

消防職員医療保険

医療保険基本特約・疾病保険特約・
傷害保険特約セット団体総合保険

③ 30%

弁護のちから

弁護士費用総合補償
特約セット団体総合保険

募集時期 7月～8月

年間保険料

④ 4,000円

救命救急士の
専門業務も補償!

消防職員賠償責任保険

公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行
為被害対応費用担保特約条項等付帯)

募集時期 1月～2月 7月～8月

⑤ 消防職員がん保険

団体総合生活保険 (がん補償)

募集時期 1月～3月

20%

⑥ 消防職員介護保険

団体総合生活保険 (介護補償)

募集時期 1月～3月

20%

⑦ 消防退職者医療保険

団体総合生活保険 (医療補償)

募集時期 1月～3月

40%

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。



全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店



〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館12階 TEL:03-6807-5691 (代) (受付時間: 土日・祝祭日除く 9:00～17:00)

<引受保険会社> 損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部第三課 TEL:03-3349-5408 (受付時間: 土日・祝祭日除く 9:00～17:00)
東京海上日動火災保険株式会社 広域法人部法第一課 TEL:03-3515-4147 (受付時間: 土日・祝祭日除く 9:00～17:00)

SJ24-10428 (2024/11/15)
24TC-004943 (2024年11月作成)

CONTENTS

大阪消防 6

表紙：大阪・関西万博消防センター
隊員の後ろ姿

01：コンテンツ／災害概況	22：We are Rookies !!
02：特集 令和6年度 国際消防救助隊員研修	24：大阪の消防NEWS
04：2025年大阪・関西万博 ～安全・安心な万博の幕開けと医療体制～	26：人材育成のヒント
06：ココ改善！	27：地域防災の輪、ひろがっています
07：ソナエの教室	28：住宅用火災警報器で歌おう
08：ケイボウタイムズ	29：落語DE火の用心
10：コマンドアイ	30：【職務】防火・防災管理等オンライン講習について
12：明日に備えて過去に学ぶ	32：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
14：【職務】第72回 消防職員意見発表会	33：現場に活かす！救急救命士国家試験問題
16：Just Do It！	34：消防漢字ガール
18：救急いろは	35：健康ダイアリー
20：実録!! 調査鑑識	36：功績表彰
	40：救急安心センターおおさかだより／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
4月中件数	2	1	12	32	47	4	0	0	5	56
令和7年 4月末累計	10	7	66	142	225	10	0	0	28	263
令和6年 4月末累計	3	7	63	129	202	17	0	2	20	241
累計比較	7	0	3	13	23	▲7	0	▲2	8	22

◎救急概況

	救急出場
4月中件数 (概数)	19,035
令和7年 4月末累計	91,515
令和6年 4月末累計	90,933
累計比較	582

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他
令和7年 4月末累計	1,547	456	0	448
令和6年 4月末累計	1,540	401	0	372
累計比較	7	55	0	76

令和6年度 国際消防救助隊員研修

— 27時間訓練 —

2025.3.18～3.19



海外で地震などの大規模な災害が発生した際、被災国からの要請を受け、日本政府は国際緊急援助隊救助チーム（以下、「JDR救助チーム」という。）を派遣します。外務省、警察庁、消防庁、海上保安庁、医療班、構造評価専門家、そしてJICAの業務調整員で構成されるJDR救助チームの能力は、国際的にも高い評価を受けています。

大阪市消防局では、政府の派遣要請に対応できる精鋭の救助隊員を局内から25名選拔し、国際消防救助隊員（以下、「IRT隊員」という。）として登録しています。

その25名を中心に、令和7年3月18日から19日にかけて、大阪府内・兵庫県内消防本部のIRT隊員、大阪府警察本部、海上保安庁及び医療班、構造評価専門家が参加し、実際の派遣をシミュレーションした27時間の訓練を行いました。

このページでは、救助隊の精鋭たちが、ほぼ不眠不休で行ったリアルな大規模訓練の様子を紹介します。

～ 訓練の流れ ～

9:30 ～ 13:00

被災地に入るまで
(シミュレーション等)



結団式



被害状況の伝達



被災地での活動準備

13:00 ～ 翌8:00

被災地での想定訓練



救助犬で生存者を搜索



道路崩落現場での活動



倒壊建物での活動

翌8:00 ～ 10:00

被災地からの帰国、
解団



活動終了時の申し送り



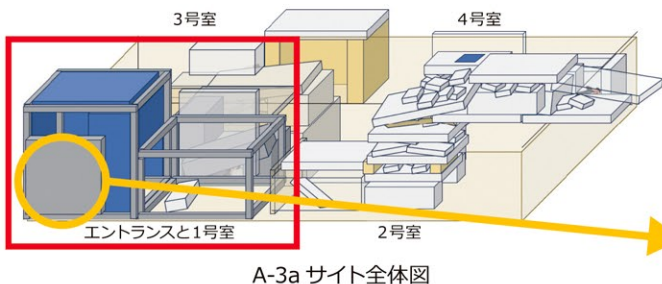
振り返り



解団式（成田空港を想定）

訓練想定：「72時間」まで残り19時間

山岳地帯に近い市街地での地震により、土砂崩れ及び建物の倒壊が発生したと想定。8つの活動サイトがあり、15名の要救助者を配置した。1小隊10名編成とし、計4小隊が活動するなかで救助活動に全力を注いだが、残念ながら5名の要救助者を救出することができないまま、活動を終えることとなった。今回は、その中でも最も活動が難航した「A-3aサイト内のエントランスと1号室」での活動について紹介する。



22:50 開口部の作成を開始



倒壊した建物内に入るための開口部を作成。内部からは要救助者の反応がある模様。

翌5:00 要救助者に接触



支柱作成完了後、倒壊した建物内で医療班の処置をサポートしながら、要救助者に接触。

翌 00:00 建物内に支柱を作成



余震発生時の倒壊防止及び緊急退避場所として、建物内の限られたスペースに支柱を作成。

翌6:00 救出完了



要救助者が安心できるよう、声をかけながら搬送。

翌6:40 要救助者の反応有

さらに奥へと進んだところからもう一人の要救助者の反応があり、接触を図るために建物の内壁を破壊し、進入経路を作成。

翌7:30 要救助者を視認

内壁を破壊後、要救助者を視認。しかし、大量の瓦礫に進路を阻まれ救出完了には至らず。

翌8:00 訓練終了

～ 訓練を終えて ～



山下係長 JDR技術検討員
(訓練担当兼訓練参加者)

本訓練は年に4回実施している国際消防救助隊員研修の総まとめです。関係機関にも参加していただき、実派遣さながらのメンバーで実施しました。当日は気温も低く、雨、風にも見舞われました。体力、集中力がそかれる過酷な環境の中で知識・技術をフルに発揮し、「要救助者を1秒でも早く救出する」ために士気、集中力を維持しながら訓練ができたことは隊員にとって非常に有意義でした。結果的に、すべての要救助者を訓練時間内に救出することができず、非常に悔しい思いをしたと思います。しかし、その悔しさを糧に、日々精進してほしいと思いました。



武田司令補 ASR隊員
(訓練参加者)

人とのつながりの大切さを強く感じた訓練でした。救助活動を実施している際、過酷な環境下でも長時間にわたって気持ち切り切れなかったのは、一人でも多くの命を助けるという同じ目的を持った仲間と共に活動できたからです。実際の派遣では、さらに過酷な環境が待っていることを想定しています。活動隊員同士のつながりを深めることで、要救助者に寄り添い、1秒でも早く愛護的な救出活動ができるよう、これからも研鑽していきたいです。この経験を通じて、仲間との協力がどれほど大切かを改めて実感しました。

◆ 訓練担当者からのメッセージ ◆

本訓練は、大阪市消防局の救助隊員の中でも、選ばれた隊員しか参加を許されない最高峰の舞台である。参加隊員は、本訓練でしか得られない経験を、他の救助隊員に積極的に伝えていただき、当局の救助隊員の資質向上に寄与していただきたい。(警防課(救助))

いっしょに、いこな！ \ 2025年 大阪・関西万博 /

～ 安全・安心な万博の幕開けと医療体制 ～

開幕から50日が経ちました！

※（令和7年6月1日現在）



開幕をむかえました！

4月13日に大阪・関西万博（以下、「万博」という。）が開幕して以降、連日、万博会場には世界中から沢山のお客様が訪れ、その多様な文化や技術の祭典を楽しんでいます。

5月号では、万博消防センターの配備車両や施設の面から万博会場内の安全・安心への取組を紹介しました。

今月は、4月12日に行われた開会式の様子と、万博の医療体制について紹介します。



連日、盛り上がりを見せる万博会場

開会式と開幕日初日の様子



開会式当日の全体ミーティングの様子

開会式当日は、各国の関係者らが出席し、著名人による演奏や映像を映すなど様々なパフォーマンスが行われ、会場は、大いに賑わいをみせました。

万博消防センターでは、特別第1警戒を実施し、市内の消防車両17台を集結させ、総員59名体制で警戒にあたりました。

翌日の4月13日には万博開催日初日を迎え、生憎の天候にも関わらず、14万1000人が会場を訪れ、各国のパビリオンを満喫していました。

これまでの私たちの準備が安全・安心な万博の開幕、そして、来場者のたくさん喜びと感動につながったことを大変嬉しく思います。

【特別第1警戒実施中】



17隊の消防車両が万博消防センターに集結

いっしょに、いこな！ 2025年 大阪・関西万博

～ 安全・安心な万博の幕開けと医療体制 ～

安心してください！ お医者さんがいますよ！

万博会場では、皆様が安心して楽しんでいただけるように、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下、「博覧会協会」という。）が、医療救護体制を整え、消防局はそれに協力しています。医師、看護師、医療スタッフが常駐する3つの診療所と、5つの応急手当所が設置されており、大屋根リング内で傷病者が発生することを想定し、狭い道路にも対応できる軽自動車（EV）救急車も導入されています。

その上で、重症の患者が出た場合には、大阪市消防局の救急隊が迅速に会場外の医療機関まで搬送できるように博覧会協会と協力し、救命の連鎖をつないでいきます。

万が一、会場内で同時に多くの傷病者が発生した際は、傷病者をいち早く万博会場にいる医師のもとへ搬送し、会場内の施設や医療器材を有効活用するなど、博覧会協会の医療チームと連携して救急対応します。

これまで数多くの災害に対応してきた消防の現場対応力と高度な処置を可能にする医師の専門的な技術を結集させ、万博会場のあらゆる事案に対応します。



開幕前には、博覧会協会と合同訓練で連携を深めた

当局初導入！

電動ストレッチャーを使用！

万博救急隊が使用する電動ストレッチャーは、大阪市消防局では初めての導入となります。耐荷重は驚異の318kg。長さも変更可能で、狭いエレベーターにも進入することができます。

また、従来のストレッチャーよりタイヤがひと回り大きく安定しているため、段差も容易に乗り越えることができます。ストレッチャーを引いて移動する際も隊員の負担が少なく、活動範囲の広い会場では必要不可欠な資器材です。

最大の木造建築物としてギネス世界記録に認定された、万博のシンボルである

電動ストレッチャーの概要

※Power-PRO 2 Stryker社製

昇降範囲	104cm～36.6cm
全長	最短：152.4cm 標準：206.7cm 最長：213.4cm
全幅	57.4cm
耐荷重	318kg

大屋根リングのエレベーター内でも、長さを調節することで使用でき、大屋根リング状へ持つていくことが可能です。



女性隊員2人でも負担少なく

おわりに

万博消防センターは、安全対策を整え、皆さまが安心して楽しむことができる万博を目指しています。

開幕後のこれからの季節は暑い日が続くことが予想されますので、熱中症対策を万全にしてお楽しみください。

ココ改善!



— 北消防署の事務改善事例をピックアップ —

近年、訪日外国人観光客(インバウンド)の増加に伴い、災害現場でも様々な国から訪れた人達とコミュニケーションを取る機会が増えています。そこで、外国人との会話に苦手意識を持っている職員でも、災害現場で効率的に情報を収集することができる補助ツールを作成・活用した取組について紹介します。



パウチ携行なしでの対応



パウチ携行での対応



当署管内にはホテル、ターミナル駅、繁華街などがあり、普段の災害活動から外国人と接する機会がありました。これまでも簡単な英語などで何とかコミュニケーションを取っていましたが、大阪・関西万博が開幕し、さらなるインバウンドの増加が予想されることから、その対策として新たな取組を始めました。



災害時に情報収集すべき事項について、外国人関係者が「Yes」、「No」などの指差しで簡単に回答できるよう質問事項を簡潔にし、それをよく使用される複数の言語で作成しました。活動時の使い勝手を考慮し、ポケットサイズに印字したものをパウチ加工し、携行しています。(写真参照)なお、各質問を外国語に翻訳する際は、当市で導入している生成 AI (Oasis) を活用しました。



実災害時に外国人関係者と効率的かつスピーディーにコミュニケーションをとることができました。その結果、情報収集に要する時間を短縮でき、迅速な現場活動につながっています。



外国人観光客とのコミュニケーションに苦手意識を持つ職員が大多数でしたが、この補助ツールの活用によって、これまで以上に積極的に情報収集ができるようになりました。引き続き、所属での訓練に取り入れ、コミュニケーション能力を強化しつつ、新たに効果的な対策を模索し、グローバルな消防署を目指したいと考えています。

企画課 事務改善担当からのコメント

万博に伴い世界的にも「OSAKA」が注目され、インバウンド対策の必要性が高まる中、非常に効果的な取組だと思います。Oasis等の活用により各所属で容易に取り組むことができる事例なので、インバウンド対策にお困りの所属はぜひ取り入れてみてください。

今月から始まる「ソナエの教室」。
このコーナーでは、日常生活の中で
遭遇する突然の災害に対して、どの
ようなソナエが必要か、皆さんにわ
かりやすくお伝えしていきます。

いざという時のために、一緒に学
んで備えましょう。



の ソ ナ エ の 教 室

みんなで
学ぼう



今回は…

大雨による災害

へのソナエです



昨今、日本では気候変動等の影響により、短時間で大量の雨が降る「線状降水帯」が発生しやすくなっています。これにより、局地的に非常に激しい雨が降り、私たちの生活に予想を超える被害をもたらすケースが増えています

大阪（大阪市中心部）では、平成23年8月27日に1時間に77.5ミリの降水量で観測史上1位タイとなる大雨を、平成25年8月25日には同じく大阪市中心部で10分間に27.5ミリの降水量を観測しました。この大雨で床上床下浸水が多数発生し、道路が冠水するなど、私たちの生活に大きな影響が出ました。

80mm/hって
どのくらい？

【参考】 1時間に80ミリの降水量とは、水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる、車の運転は危険、傘は全く役に立たない、という状態になります。（気象庁HPより）

このような大雨にあったとき、皆さんはどうしますか？

被害をもたらす局所的大雨



注意するポイント

河川、用水路、
アンダーパス等、
危険な場所に
近づかない。



地下にいる場合は速やかに
地上へ避難する。

ハザードマップ、避難場所を
確認し速やかに避難する。



避難時のソナエ

長袖、長ズボンを着用、軍手、
ヘルメットをつける。
（ヘルメットがなければ帽子）

荷物は必要最低限に。
両手が塞がらないよう、リュックに入れる。

傘は差さず、杖として使用し、冠水時に側溝
やマンホールで穴が開いていないか確認しな
がら歩き、はまらないように注意する。

靴はスニーカー（運動靴）を
履く。

⇒長靴では、中に水が入って
重くなり、また、排水も
できず、動きづらくなる。



予防課防災指導では、大雨による被害について体験してもらえる市民消防
教室を開催し、都市型豪雨体験を実施しています。（6月・7月）
大阪市内に在住・在勤・在学している方が対象です。ぜひご参加ください。



豪雨体験の様子

ケイボウタイムズ

～警防課の「いま」を伝える～

第14回 消防水利に関する業務について

警防課〈水利担当〉

災害現場での活動を支える「警防部 警防課」。

「ケイボウタイムズ」では、毎号、警防課の各担当による「この時期だから伝えたい」旬なネタを掲載するほか、警防課が取り組む施策や事業についてお伝えします。

はじめに

警防課水利担当では、水道局及び建設局と連携し、「消防水利（公設消火栓）」について、円滑かつ迅速な消火活動のため、消火栓の新設・撤去に伴い、消火栓の設置位置の調整を行い、故障や不良があれば水道局に修理を依頼し、使用できるように調整等を行っています。また、地震などの大規模災害時の水源の確保についても、水道局の水道管耐震化事業と併せて公設防火水槽の整備を行っています。今回は、消防水利の基本的な考え方を紹介します。

消防水利整備基準

「消防水利の基準」を満たす消防水利により、その取水部（マンホール中心、採水口）を中心とした半径100mの円による包含で整備状況の確認を行います。

◆有効な消防水利の基準

●消防水利は、常時貯水量が40㎡以上又は取水可能水量が毎分1㎡以上で、かつ連続40分以上の給水能力を有するものでなければなりません。

●消火栓は、呼称65の口径を有するもので、直径150mm以上の管に取り付けられていなければならない。

◆公設消火栓による水利包含

火災時の消防活動の基盤となる消防水利である公設消火栓を大阪市内に確保するため、水道局の水道管工事の際に、公設消火栓の配置状況を「100m包含」により確認します。

◆公設消火栓により包含が困難な場合

大阪市内には商業エリア、住宅地、工業地帯など多様な立地が混在しており、すべての場所で公設消火栓による「100m包含

消防水利は消火活動に活用されるだけではなく、火災現場における要救助者の検索に合わせた援護注水にも活用されるなど、我々消防職員にとって極めて重要な存在です。消防水利を適正に維持管理し運用することは、円滑な消防活動に寄与するとともに、市民に安全安心を提供することにつながっています。

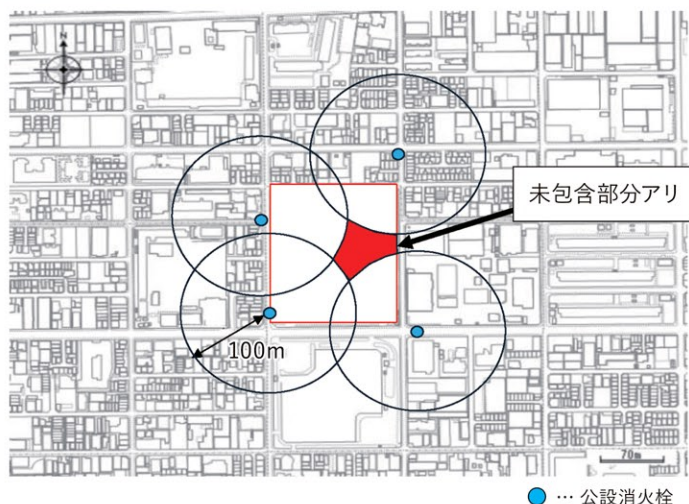
【援護注水とは】

火災現場で視界を確保し、熱や煙から消防隊員を守るために実施する。特定のエリアに注水することで冷却及び排煙効果が期待でき、要救助者を保護する効果もある。



援護注水を受けながら要救助者を検索する救助隊

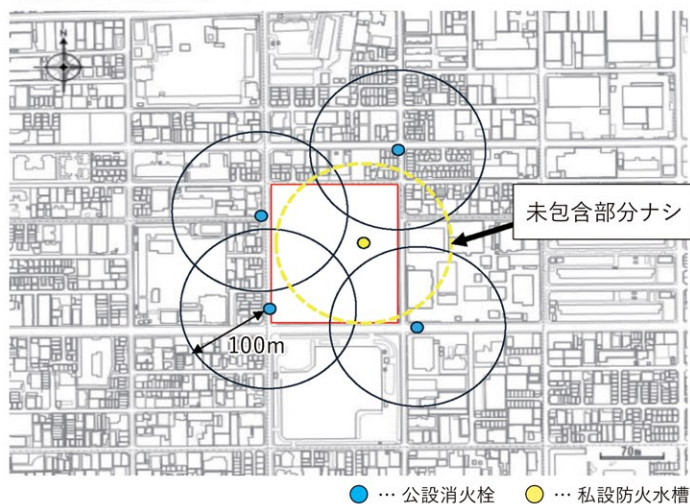
公設消火栓による包含が困難なケース



「私設防火水槽」は、地下や地上に設置される貯水施設で、消防用水を常時確保するためのものです。この水槽は耐震性能を有している等を行います。

「私設防火水槽」は、地下や地上に設置される貯水施設で、消防用水を常時確保するためのものです。この水槽は耐震性能を有している等を行います。

私設防火水槽設置後のイメージ



そのため、公設消火栓が利用できない大震災などの大規模災害が発生した場合でも、消防隊や地域防災リーダー等が活動する際の水源として活用することができます。

一方、「私設消火栓」は、個人の敷地内に設置された消火栓です。私設の防火水槽及び消火栓についても、所轄消防署長と指定承諾を取り交わしているものについては、災害時に使用可能となります。



大阪市消防局警防部警防課水利担当

2025年4月1日から新体制となった水利担当です。市民の安心と消防活動の強化を目指して、引き続き尽力致します。
(左から、川西、吉永、滝口、塔本、北川)

これからも、火災などの災害から市民の生命、身体、財産を守るべく、消防水利や防火水槽の整備を継続していきます。

おわりに

警防課水利担当の仕事は、有効な消防水利の配置等を進めていくことです。その中で一番大切だと感じるののは、最前線で消火栓を使用する消防隊との「顔の見える関係」です。というのも、現場サイドの消防隊からの意見（消火栓使用の際に感じたことや操作上の不具合等）をもとに、今後の水道局との消火栓協議において、消防隊がより使用しやすい消火栓の設置を進めることができるからです。

コマンドアイ



様々な事案から災害活動を振り返る

南方面隊

階段室型共同住宅における消火戦術

■はじめに

昭和30年代から市営住宅等多く採用された構造に「階段室型共同住宅」がある。今回はその階段室型共同住宅において発生した火災での活動の困難性と活動のポイントを紹介する。

■災害概要

覚知時刻 8時42分
鎮圧時刻 9時32分
出場回数 通常第1出場
13隊
+救助中隊3隊
+安全管理隊1隊
構造様式及び焼損程度
焼損棟 R C造陸屋根5階建共同
住宅（建302㎡／延
1483㎡の1階1室

■階段室型共同住宅とは・・・

集合住宅の形式の一つで、隣り合う2戸で1つの共有階段を使用する形式。主に市営住宅や団地に多い。
4階建以上になるとエレベーターの設置がある場合が多く、その場合は階段室ごとにエレベーターが設置されている建物もある。また高層建物になるとスキップフロア型共同住宅もありエレベーターが停止しない階は階段室型と同様となる。

（占有30㎡）において
30㎡焼損及び外壁50㎡
焼損
救出人員 5名
誘導人員 3名
負傷者 3名
1階1名、4階2名

○メリット
防犯性に優れており、共用面積が少なく、各住戸は両面に開口部を設けることができる。

○デメリット
1つの階段室にしかアクセスできないため、火災時に2方向避難ができない場合が多く、階段室に煙が立ち込めると避難が困難になる。

■活動状況



「Y管内高層建物火災、続報多数あり、高所カメラ情報黒煙あり」早朝

の火災出場。

直近隊の現場到着時には、既に1階ベランダより火炎と黒煙が噴き出し、上階への延焼危険が大であり、併せて上階では助けを求める要救助者が確認できたため、早期に出火室ベランダ側より上階への延焼を阻止するための放水を地上屋外から開始した。



その後、直近隊は中継隊の受水体制が完了したことを確認し、すぐさ

ま出火室玄関へ筒先転進を行い、玄関から室内への放水を行った。しかし、出火室の住人が玄関扉を開放したまま避難したため、階段室には濃煙が立ちこめていた。各消火隊でさえ空気呼吸器を使用しなければならぬ状況であったため、上階の住人は自力の避難ができず、要救助者となった。このような場合、火煙が収まるまで自室で待機する選択もあるが、先に自力避難を試みてドアを開けた時に大量に煙が流入したことで、その際の恐怖心から早期の避難を強く希望する方が多かったため、消防隊による救出、誘導を決定した。要救助者は全員で5名（3階3名、4階2名）であり、3階では指定消火隊及び救助隊が3階ベランダへ三連はしごを架梯してかかえ救出により2名を救出、もう1名は救助隊が屋外階段より救出し、4階の2名についても救助隊により屋外階段から救出した。

■活動のポイント

本事業は階段室型共同住宅のデメリットでもある一方（一カ所）の避難経路に濃煙が滞留したこと、上階からの自力避難や消防隊の救助活動、消火活動を困難にした。これらを踏まえて活動のポイントとして

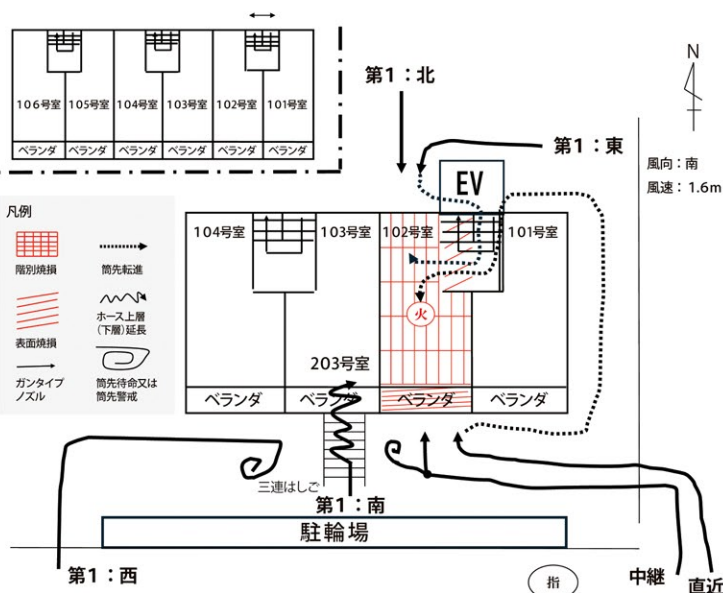
2点挙げられる。

1点目は階段室型共同住宅の階段室について理解すること。階段室は屋外に設置されており開放されているが、本事業では、前面に後付けのエレベーターが設置され開口部が小さくなっており、これが煙を階段室に滞留させた大きな要因となった。一口に屋外階段と言っても、構造等の様々な要因から煙の滞留が発生することを認識する必要がある。また、屋内階段のように閉鎖された階段室であれば、更に濃煙と

熱気により活動困難な状況、要救助者が多数発生する可能性があることも頭に入れておく必要がある。

2点目はドアコントロールの重要性と建物の状況に合わせた消火戦術である。先述のとおり、本事業においては出火室の住人が玄関扉を開放したまま避難したことで、階段室全体に煙が立ち込み避難と活動を困難にしていた。

火災現場において扉を開放したまま避難してしまうことは度々目にするが、消防隊はそのような場面でも冷静に避難状況等を確認し、早期に扉を閉鎖するなどの判断が必要である。また、玄関扉を開放して室内進入する場合は、扉の開放は必要最小限とするなど、階段室への煙の流入を最小限に抑えるドアコン



トルールへの意識が必要である。そして上階に逃げ遅れがいの場合や上階で活動する消防隊を意識して、早期に階段室の煙を排気し、クリーン階段を設定し要救

助者の避難動線及び上階での活動隊の活動環境の確保を行うことも重要である。

消火戦術については本事業のように出火室内に逃げ遅れがない場合では玄関扉を閉鎖し、階段室型共同住宅の特徴である両面の開口部を活用して一方攻撃他方警戒による消火活動を行うことも階段室への煙の影響を抑えた上での消火手段の一つである。

また煙の滞留が発生している階段室においては排煙を目的としたスプレー放水や送排風機の活用等、保有資器材による排煙も選択肢の一つとして考えておくべきである。

■おわりに

階段室型共同住宅は本事業のように下階で発災し煙が上階へ滞留すると火災による燃焼範囲以上に広範囲にわたって消防隊の活動に影響を与える。煙については消防職員であれば火災現場活動で常に意識して活動しているところではあるが、いざ炎を目の前にして消火活動を行うと他に与える煙の影響を忘れてしまっただけではないだろうか。

日々の訓練の際にも自隊の活動が火災現場において他にどのような影響を与えるかを考えて実施してほしい。

今回のテーマは「CRM」(警防部警防課)

このコーナーでは、「安全文化の醸成と安全管理の徹底」を図ることを目的に、消火・救助・救急など過去の負傷事例を振り返り、事例からの学びについて紹介していきます。ここで紹介する内容が、皆さんの日々の活動に役立ち、プロフェッショナルとしての安全意識をさらに高める一助となることを願っています。今回は、ヘリコプターの安全性向上を図るきっかけとなった事例を紹介します。

CRM (Crew Resource Management) とは、航空分野で開発された安全な運航のための概念であり、消防庁においては「安全かつ効率的な運航のために全ての利用可能な人員、資機材及び情報を効果的に活用する措置」と定められています。つまり、「安全で効果的な運航を達成するために、すべての利用可能な人的リソース、ハードウェア及び情報を効果的に活用すること」となります。

航空救助活動では、このCRMを取り入れてディスカッションやシミュレーション訓練などを実施し、コミュニケーション、リーダーシップ、意思決定等のスキルを磨きます。

事例紹介

平成21年9月に岐阜県防災航空隊、平成22年7月に埼玉県防災航空隊、平成29年3月には長野県の消防防災航空隊が墜落し、17名の方が殉職する痛ましい事故が相次いで発生。これを受けて消防庁は、平成30年3月に消防防災ヘリコプターの安全性向上に関する検討会を設置し、その施策の一つとしてCRMが導入されました。

しかし、同年8月に群馬県防災航空隊が墜落し、9名の方が殉職する事故が発生したことから、消防庁から助言より高い規範力を持つ消防組織法第37条に基づく消防庁長官の勧告として「消防防災ヘリコプターの運航に関する基準」が改正され、CRMに係る実施要領を定めるものとして示されました。



出典：平成30年8月 群馬県防災航空隊墜落事故調査報告書
(運輸安全委員会提供)

過去からの学び

CRMでは、「人間はエラーを犯すもの、失敗するもの」という前提で考えられており、CRMスキルにとって重要なものは、5つのNon-Technical Skill* (状況確認、意思決定、ワークロードマネジメント、チーム形成、コミュニケーション) であると提唱しています。今回、この専門スキルを支えるNon-Technical Skillを航空小隊と陸上消防小隊の各活動に関連づけて説明します。

***Non-Technical Skill (ノンテクニカルスキル)**

Technical Skill (専門スキル) を支える、自己管理や社会性の技能を指し、学習して向上させることができる技能をいう。



5つの Non- Technical Skill

状況認識

状況の把握と
認識の共有、警戒、
予測、分析

ヘリ機内で起こっている事象を認識するだけでなく、それらを分析し、どのように変化するかを予測するスキルとして位置付けられています。認識の対象は、機体、クルー、現場環境、活動時間などがあり、それらをチームとして共有することを指します。



コミュニケーション

情報伝達と確認、
ブリーフィング、
安全主張



CRMのコミュニケーションとは、単なる会話とは異なり、適切な情報や意思、意見などを誤解を招かないように明確に伝えるスキルを指します。状況に合わせた必要な言葉を如何に端的に伝えられるかが重要となります。

意思決定

解決策の決定、
決定の実行



問題点を特定し、解決策をチームで検討して決定し、実行に移すプロセスのことであり、その中には結果に伴う振り返りも含み、単に「判断すること」だけではありません。チームで何らかの問題点を認識すれば、その問題と捉えた事象を共有することが大切です。

チーム形成

業務の主体的遂行、
チーム活動に適した
環境作り



クルーが効果的に機能するチームを形成するためのスキルを指します。クルーのそれぞれのスキルが機能し、相乗効果が発揮されることが大切です。機長、副機長、整備士、航空消防活動指揮者、救助員の適切な「権威勾配※1」の維持が重要です。

※1：「権威勾配」

一般的には、職場でのポジションや実績によって相手との権威の差を表したものの。

ここでの意味は、機長や副機長、整備士（オペレーター）や航空消防活動指揮者などが、それぞれの職責に応じたリーダーシップを発揮し、適度な勾配を作ることができる環境が重要であり、地上消防活動の感覚で機長や隊長を立て意見を尊重し、一人に依存する「リーダーシップ」ではないということです。

ワークロード※2

マネジメント
プランニング、
優先順位、
タスク配分



様々な場面で発生するリスクを適切に取り扱い、クルーのパフォーマンスレベルを一定以上に維持することを指します。安全かつ効率的な活動には、状況に応じた適切なワークロードのマネジメントが不可欠です。

※2：「ワークロード」

ここでの意味は、災害現場の活動方針（活動内容）を適切に管理すること。

例えば、同じ活動であっても新人はベテランよりも時間がかかったり負荷が大きくなったりすることがあります。その時に負荷を分散（他の者に少し任務を分けるなど）させることによって、小隊の活動スキルを一定以上に維持すること、また、迅速性を重視するあまり活動説明を省略しそうな時は、一旦立ち止まり、全員で理解できる時間を設けたり、あやふやな活動にならないようにするための取組などを指します。

CRMを地上消防活動に活かす

消防の活動には、操法やマニュアル等の手順がありますが、1分1秒刻々と変化する災害現場では、状況に応じて人が柔軟に対応するからこそ、安全な活動が実現できています。どれほど専門的な知識や最新の資器材を保有していても、多種多様な災害の状況を分析して予測し、それを隊で共有できる能力、小隊長を中心に活動障害に対しての解決策を決定できる能力、常に変化する災害状況のリスクをマネジメントできる能力、災害に応じた意見や情報を的確に伝えられる能力、そして、上司、部下隔てなく、普段から隊内で自由に意見が言える雰囲気や構築できる能力のNon-Technical Skill（ノンテクニカルスキル）を備えておかなければ、安全な消防活動には繋がりません。

我々の消防活動は、多様な社会情勢のニーズに応えるため多岐に渡りますが、予防、消火、救急、救助活動及び交通事故防止など全ての活動において、このCRM訓練は非常に有効です。大切なことは、新人の隊員からベテランの隊員も含め、全ての職員がこの5つのCRMスキルを理解し、実践していける隊を構築することで組織としての安全文化に繋げていくことです。

航空の世界から生まれたCRMの概念が、皆さんの「安全文化の醸成と安全管理の徹底」の一助となることを願います。

第72回 消防職員意見発表会



令和7年2月13日、西消防署講堂において「第72回 消防職員意見発表会」が開催されました。ここでは、優秀賞を受賞した、末本竹慶 消防司令補（水上消防署 救助隊）の発表内容を紹介します。

優秀賞

小さな救急車が救う大きな命



水上消防署 救助隊 末本 竹慶



「申し訳ございません。現在、大阪市内の救急車が出払っておりまして、京セラドームの方から急いで向かっております。あと到着に20分程お時間がかかります。もうしばらくお待ちください」「そんな救急車ちゃうんけ!!」

これは、救急車で出場中、通報者に対して救急車の到着が遅れてしまうことを伝える際に、実際にあつた電話でのやりとりです。対応した傷病者の緊急性が高く、早期に搬送を必要とする方であった時は、不甲斐ない気持ちでいっぱいになり、このままでは「救える命が救えない」世の中になっていくのではないかと恐怖を覚えました。

また、救急車が長距離出場することにより出場距離が増加し、活動時間が長引くことで、救急隊員が疲弊しているのが現状です。

このような状況になっている原因として、近年、高齢化や異常気象などにより、大阪市内の救急需要が年々増加し、特に夏季・冬季の救急件数は、1日1,000件に迫る日も多く、大阪市内全73隊のマンパワーが不足していることが挙げられます。

私は、これらの問題を解決していくために、「軽症傷病者の取り扱い」を今後見直すことが必要であると考え、次の案を提案します。それは、軽自動車を活用した救急隊員2名運用体制の軽症専門救急隊、「スモールアンビュランス、SA隊の創設」です。

この案は、夏季・冬季の救急需要増大期において、119番通報の段階で、指令センターに配置された医師の指導・助言に基づき、「歩行可能者」「発熱や便秘などの症状が1つのみ」の2つの条件に該当する「緊急性の低い軽症傷病者」を選別するコールトリアージを実施するというものです。その後、「軽症救急対応事案」として、軽症専門救急隊、スモールアンビュランスを傷病者のもとへ出場させます。

直近の夏季・冬季、3カ月間の救急件数は77,104件に上り、そのうち「歩行可能者」「発熱や便秘などの症状が1つのみ」の2つの条件に該当する軽症傷病者は12,131件と、全体の16%を占めています。この2つの条件に該当する16%の軽症傷病者をスモールアンビュランスで適切に対応をしていくことで、大きく3つの効果が期待されます。

1つ目。SA隊を効率的に運用することで、通常救急隊が温存され、重症傷病者や集団災害事案などに迅速な対応が可能となります。

2つ目。出場距離と活動時間が短縮し、救急隊員の疲労が軽減され、安全な業務遂行に繋がります。

3つ目。軽自動車で救急隊員2名による運用体制とし、資器材を必要最低限に抑えることで、維持費を含めた運用コストを大幅に削減することができます。

この提案を達成するためには、「救急隊員2名での運用体制とする構造改革特区の特例認定」と「軽自動車を救急業務に活用するための法的承認」を受けなければなりません。この認定・承認を得ることができれば、大阪市の救命率は飛躍的に向上することでしょう。また、将来的に救急需要増大期以外にも運用する体制が整えば、より安心・安全な都市を創っていけないのでしょうか？

私は信じています。近い将来、大阪市内、いや、日本全国を駆け回る小さな救急車。スモールアンビュランスが市民の命を支え、救急医療の未来を切り拓くことを。

末本主任にインタビュー！

Q1 今回の意見発表会に出場するにあたり、このテーマを選んだ理由をお聞かせください。

A1 年々高まる救急需要に対応するために、なにができるだろうか？と考えるなかで思い至ったのが、今回の私の提案です。このアイデアを活用すれば、「救える命を救い、救急医療の未来を切り拓くことができる」と確信しています。

Q2 論旨や表現方法など、今回の発表で工夫した点を教えてください。

A2 消防関係者だけでなく、一般市民の方々にも発表の論旨が伝わるよう、言葉遣いなど表現を工夫しました。

Q3 スモールアンビュランスのアイデアは、いつ頃思いついたのですか？

A3 令和6年1月、前所属の本部機動救急隊で勤務していた頃です。

Q4 スモールアンビュランスの着想はどのように得たのでしょうか？

A4 他都市消防の特例認定、例えば、姫路市家島や藤沢市江の島など、狭隘な道路が多い離島での軽救急車の運用からヒントを得たものです。緊急性が低い傷病者に対して、救急隊員2名での運用を始めた横浜市のケースもあります。これらの特例認定を合わせもったのが、私が考案した「軽症傷病者専門救急隊スモールアンビュランス」です。

Q5 優秀賞を受賞されて一言お願いします。

A5 このような賞をいただくことができたのは、水上消防署の皆様、そして、これまで私と救急活動をしてくださった方々のおかげです。本当に感謝しています。いつの日かスモールアンビュランスが普及し、日本全国で駆け回るようになることを心から願っています。

Just Do It!

第14回 昇任時教育「消防士長昇任前研修」

高度専門教育訓練センター



田中 沙弥

今月の担当教官（田中）のひとこと

2年前に本研修を受講していた私が、研修の段取りを行う側になるとは想像もしていませんでした。昇任消防士長の皆様、どんな仕事でも失敗を恐れず、果敢にチャレンジしてください。

昇任時教育 消防士長昇任前研修

第53期 令和7年2月21日(金)

第54期 令和7年2月26日(水)

第55期 令和7年2月27日(木) ※全日9時00分～17時30分

【研修内容】()内は講師の所属

◆講義

- 消防士長の心構え(訓練センター) ●安全管理(訓練センター)
- 服務規律・交通事故防止～職責と役割～(企画課 服務指導)
- ハラスメント(人事課 厚生) ●人材育成～職責と役割、フォローアップ～(訓練センター)

◆Web研修

- 運営方針(企画課 企画) ●広聴広報(企画課 広聴) ●大阪市の組織及び市会(訓練センター) ●予算のあり方(総務課 計理)
- 文書管理(総務課 法務)

今月は昇任時教育の一つである、消防士長昇任前研修について取り上げます。

本研修の対象者は、消防士長昇任予定者です。消防行政についての理解を深めるとともに、職務遂行に必要な知識を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行いながら、業務を執行できる能力の向上を目的としています。

研修は3日間に渡って実施され、今年度は123



講義風景



グループワーク

消防士長になると、消防士よりもより高い能力が求められるようになります。表の赤字部分が、消防士長になると求められる職務遂行能力です。上司の指示通りに動くだけではなく、業務目的を理解した上で、自ら後輩に具体的な指導を行うことも必要になってきます。消防士長として、司令補と消防士をつなぐ架け橋のような存在になれるよう心がけてください。

組織が求める消防士長の能力

名が昇任試験に合格し、消防士から消防士長へ昇任することになりました。

表 消防士長に求められる能力

① 市民安全志向	高い使命感・責任感を持って、市民の安全確保に向けた適切な対応ができる。
② 業務遂行	消防司令・消防司令補を補佐し、担当業務に必要な業務内容を修得し、上司の指示・命令に基づき、 業務目的を考えて効果的に業務を遂行することができる。
③ 人材育成	人材育成の専任指導員として、上司の指示のもと部下に対して具体的な業務指導を行い、的確に指示を出せるように指導することができる。
④ 規律性	法令、服務規律、上司の命令を遵守し、公正に職務を遂行することができる。

参考：大阪市消防職員の標準職務遂行能力に関する要綱

三二講座 安全管理と心理的安全性

消防における「安全」とは、事故発生要因となる危険な事象を合理的に除去できている状態のことをいいます。

一般的に事故の起こりやすい時間帯や職場環境などの要因はいくつか挙げられますが、人間関係等の心理的な要因によっても事故が起こるでしょう。これには、心理的安全性（チーム内の誰に対しても自分の意見や気持ちを安心して伝えられる状態）が関係しています。

ここでは、心理的安全性の4つの因子について紹介します。

心理的安全性の4つの因子

① 話しやすさ

心理的安全性が高い職場では、上司・部下関係なく、リーダーやメンバーが相互に話しやすさを感じています。特にチームのリーダーや上司は、メンバーそれぞれの存在を尊重することが大切です。

② 助け合い

助け合うためには、チーム全体の共通目標を

立てたり、メンバーの相互理解を深めることが重要です。

③ 挑戦

リーダーが自ら率先して挑戦する姿勢を見せると、メンバーも見習うようになります。失敗したとしても、「どうしたら良かったか」を考えて意見を出し合い、次に繋げるきっかけになります。

④ 新奇歓迎（しんきかんげい）

新奇歓迎とは、新しい価値観や今までとは違う方法を受け入れることです。メンバーがそれぞれ認め合えれば、価値観が違っても相乗効果をもたらし、新たな発想に繋がります。

消防司令補と消防士を繋ぐ 架け橋として

ステップアップを目指す過程で様々な困難が生じるかもしれませんが、皆さんにできないことは決してありません。どんな仕事を任せられたとしても、最初から諦めずに全力で取り組んでみてください。まずは後輩を大切に助けてあげられるような、立派な消防士長がたくさん誕生することを心から願っています。

鋭的外傷の「スクリプト」

スクリプトとは
「自動販売機でジュースを買う」「駅で改札を通る」など、日常生活におけるよくある行動や出来事の流れに関する構造化された知識。

はじめに

「時間との戦い」「とにかく早く初療室へ」など、いち早く医師の管理下に置くことが推奨される「鋭的外傷症例」。現場でできることが限られているためですが、救急隊による的確な観察と確実な処置は、傷病者の救命率アップに繋がります。
今回はそんな鋭的外傷の特徴と、対処方法について考えてみましょう。

まず止血！とにかく止血！

交通事故など、大きな外力による多発外傷が生命に影響を及ぼす「鈍的外傷」と比べ、刃物や銃弾による鋭利な外力で切創、銃創などを負う「鋭的外傷」は、損傷が局所的で、損傷部以外にダメージが無いのが特徴です。鋭的外傷による心肺停止の主な原因は失血であり、止血さえできれば助かる可能性が高いと言えます。
救急隊が接触した時に出血が続いていたら、その状態が受傷直後からずっと続いていることに

なります。出血が続けば必ず心肺停止に至るため、救命するには一刻も早く出血を止めるしか方策はありません（図1）。

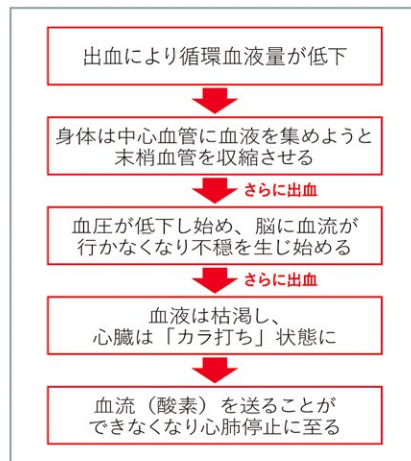


図1 出血から心肺停止に至るまで

■出血量について

血液量は一般的に体重の約7〜8%を占めています。体重60kgの成人の血液量は約4・8kg、つまり約5Lと考えられます。このうち500mL〜1Lの失血であれば、通常は生命に大きな影響はありません。

一方、小児に同量の出血がある場合、たとえば体重が30kgであれば血液量は約2・5Lで、

1Lの出血が全血液量に占める割合は大きくなり、生命に重大な影響を及ぼします（図2）。



図2 出血による致死量の考え方

傷病者の全血液量に対する出血量の割合で決まる。

■止血には工夫が必要

頭部や胸部、四肢など体表から骨が触れる部位であれば圧迫の効果が高く、三角巾による緊縛も作用しやすくなります。しかし、頸部や腋窩など、圧迫や緊縛が困難な部位の出血ではどうでしょうか？救急隊の資器材を、どの組み合わせで、どう工夫して使うのが効果的かなど、最も圧迫できる方法を訓練等で検証し、状況に応じてすぐに実施できるようにしておきましょう（写真1）。

明らかにそれとわかる出血点があっても、創傷がそこだけとは限りません。背部と胸腹部を別々に複数回受傷していたり、大型の刃物や銃弾により貫通創となっている可能性もあります。着衣の色が黒や紺の場合、血液を視認できない

他にも創傷がないか確認！



写真2 AEDとともに設置されている止血キット

関西国際空港に設置されている止血キット。バイスタンダーが使用することを想定し設置されている。



写真1 たたみ三角巾と厚手ガーゼによる頸部の圧迫止血

結び目を作り圧迫を増している。



写真3 出血に気付にくい着衣の色

着衣の色が黒や紺などの場合、血液を視認しにくく出血に気付かないことがある。意識が無く痛みを訴えない人の出血は、探さないと見つからない。

保温・酸素投与は必須！

大量出血すると体温が低下し、全身に「震え」が生じます。震えは筋肉の収縮により生じるため、著しく酸素消費量が増えます。さらに、血液流失による酸素運搬機能も低下し、酸素不足

こともあります（写真3）。特に背側は搬送中に1人で観察を行うことが困難になります。止血を行う者と出血点を探す者で手分けするのも良いでしょう。頸部、腋窩、膝窩、大腿部など、脈拍触知可能な部分からは大量出血しやすく致命的です。見落としている出血が無いか、しっかり確認してください。

おわりに

救急隊が、大量出血を伴う鋭的外傷症例に遭遇する機会は決して多いとは言えません。そのため、鋭的外傷対応のスク립ト（知識）を持たない隊員が、この症例に対応する可能性がありません。

日頃から、鋭的外傷について様々な負傷部位をイメージし、最も止血に効果的な資器材とその使い方、組み合わせについて検証し、落ち着いて自然に行動できるよう、鋭的外傷のスク립トを持っていきましょう。

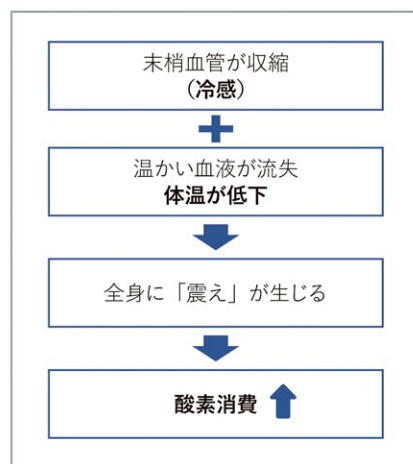


図3 大量出血後に起こり得る症状

に陥ります。必要な観察処置が終われば、積極的に保温と酸素投与を行ってください（図3）。

「調べて、広めて、市民を守る。」



いつもは調査鑑識の現場で役立つ情報を実際の現場での活動をもとにお届けしているけど、今月は、「令和6年の火災状況」について説明するね。

「令和6年の火災状況」…火災についてのどんなことを知ることが出来るのですか？



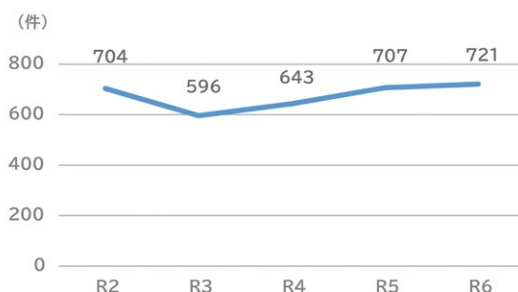
毎年発表される、前年の「火災状況」は、火災件数と出火原因について、1年分のデータをまとめたものだよ。ここでは、過去5年間分の統計と比較しながら、令和6年の特徴についてまとめたよ。



1 火災件数

令和2年から5年間の火災件数の推移を示します（図1）。令和6年の火災件数は721件、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令された令和2年は704件、コロナ禍の令和3年には596件と火災件数は減少していましたが、令和3年以後は、増加傾向にあります。新型コロナウイルス感染防止に伴う行動制限がなくなったことが火災件数の増加に関係していると考えられます。

図1 火災件数（過去5年間）



2 出火原因

令和2年から5年間の出火原因（表1）のトップは「たばこ」で変化はありません。令和6年を見ても、出火原因の2位は「電気配線類」で95件、3位は「電気製品」で86件となっており、「電気配線類」または「電気製品」が出火原因となる火災が過去5年間で最も多い結果となりました。

表1 過去5年間の出火原因と火災件数

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
1位	たばこ	134	たばこ	98	たばこ	125	たばこ	130	たばこ	115
2位	放火	115	放火	96	放火	73	放火	82	電気配線類	95
3位	電気配線類	75	電気配線類	65	電気製品	68	ガスこんろ	79	電気製品	86
4位	ガスこんろ	58	電気製品	61	電気配線類	64	電気配線類	74	放火	77
5位	天ぷら油	58	天ぷら油	50	天ぷら油	54	電気製品	72	ガスこんろ	58
6位	電気製品	49	ガスこんろ	38	ガスこんろ	46	天ぷら油	47	天ぷら油	51



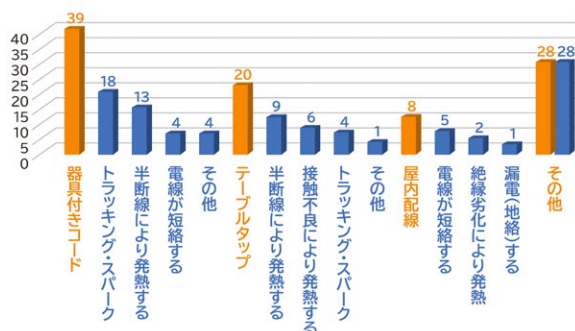


次は、「電気配線類」と「電気製品」が出火原因となった火災、それぞれについて見てみよう。

2_1 「電気配線類」の火災

令和6年の「電気配線類」の発火源と経過の上位3つについてまとめました(図2)。1位が「器具付きコード」2位が「テーブルタップ」3位が「屋内配線」となり、火災に至る経過としては「トラッキング・スパーク」、「半断線により発熱する」が多い結果となりました。

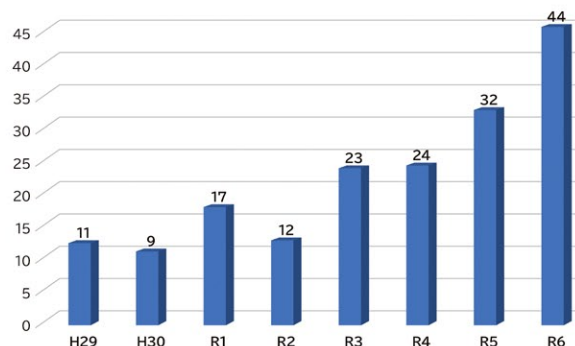
図2 電気配線類の発火源と経過(令和6年)



2_2 「電気製品」の火災

「電気製品」による火災のうち、リチウムイオン電池の火災件数にフォーカスします。過去8年間の「リチウムイオン電池が起因する火災件数」は急激に増加しており(図3)、令和6年には「電気製品」の半数以上が「リチウムイオン電池」が原因の火災となっています。近年、リチウムイオン電池がモバイルバッテリーや家電製品等、様々な製品に使われており、そうした中で、リチウムイオン電池の劣化や衝撃を与えたことにより出火する、などのケースが増えています。

図3 リチウムイオン電池が起因する火災件数



《 おわりに 》

近年、テーブルタップやモバイルバッテリー等の製品をインターネットで安価に購入できるようになりました。利便性が高まった反面、安全性に欠ける製品の購入やメーカーが推奨していない製品の使用により、火災になる事案が増加しています。今後も安全性に欠ける製品やメーカーが推奨していない製品を使用することの危険性を啓発し、トラッキング防止機能付きのテーブルタップや安全装置付きモバイルバッテリー等のメリットを伝えていきたいと思います。本稿が今後の更なる火災件数の減少につながり、火災予防の啓発の一助となれば幸いです。



出火原因と火災件数から、近年の火災の傾向を知って、火災予防啓発に役立ててね。

We are Rookies!

3月
救急ラリーⅡ



結果発表

結果発表の様子



救急車付きの
特製トロフィー



5月号で紹介した『救急ラリー』は、第1小隊が小隊優勝を果たしました。
全28班のうち、最優秀賞に輝いたのも同じ第1小隊の第1班でした。

第1小隊小隊長土田学生
最優秀賞の第1班



実科査閲

見え隠れする春の兆しを感じ始めた3月27日、第17回初任教育の実科査閲と修業式が挙行され、6ヶ月間の厳しい訓練を耐え抜いた初任教育生は、大切な方々に成長した姿を披露しました。

ロープ訓練では、自身と仲間を確実に守りながら人を救う方法、そして要救助者を必ず救うという「熱い気持ち」を学びました。

ポンプ訓練では、消防活動の根幹となる「消火要領」を学び、救急訓練では、救急救命技術はもちろんのこと、傷病者に寄り添う「優しい心」を学びました。



修業式

次回予告

- 第118回初任教育生入校の様子
- 山岳徒歩訓練





守口市門真市消防組合消防本部 人気ユーチューバーとコラボ 「107万回の広報」

守口市門真市消防組合では、防火・防災の啓発活動の一環で、人気ユーチューバー、Lazy Lie Crazy (レイクレ) とのコラボレーションによる、火災予防広報を実施しました。この様子を、レイクレのYouTubeチャンネルで公開いただき、令和7年4月現在で107万回の視聴回数を記録しました。これにより当消防組合SNS (Instagram) のフォロワー数が増加し、「Instagramを見た!」という声掛けもいただきました。内容はレイクレが一日消防士体験をするというもので、火災予防広報だけでなく、訓練の過酷さや署内での日常生活など、普段では知る事のない消防士の実態を、幅広い年齢層に知ってもらう機会となりました。

今後も時代にあった新しい広報活動にチャレンジし、守口市・門真市に捉われず、全国の方々からも興味を持っていただける消防組合を目指したいと思います。



守口市門真市消防組合消防本部



泉州南広域消防本部 現場隊員への予防教育 ～予防は人命救助の最前線～

予防課では、予防未経験者や新人職員などの現場隊員を対象として『現場隊員特化型の予防教育プログラム』を行っています。

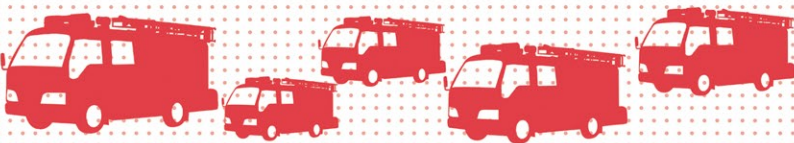
設備関係では、現場隊員用の「消防用設備等活用マニュアル」を警備課と協力して作成し、各職員へ配布しています。

危険物関係では、実験キットを各署に持ち込み「危険物出前型研修」と題して第4類危険物の引火点の違いや燃焼範囲、泡消火薬剤の種類やアルコール類の特性などの研修を行っています。

また、新人職員の研修では、連結送水管や排煙設備、危険物・ガス漏洩事故の対応等について実技も取り入れ、現場直結型の研修を行うことで予防の知識が「将来」ではなく「すぐに役に立つ知識」であることを認識させています。

取り組み開始以降、全国各消防本部、消防学校からの問い合わせ、講義依頼もいただいております。

これからも職員全体に予防課の取り組みや目的を浸透させ、組織全体を強くし、住民の生命、身体及び財産を災害から守ります。



高槻市消防本部 指導救命士派遣研修を 実施しました

高槻市消防本部では、平成29年度から指導救命士の養成・運用を行っており、これまで本市での活動のみならず、検証会議への参加や地域MC協議会への参画など、地域救急医療の発展に寄与してまいりました。

運用開始から一定期間が経過し、更なる指導救命士の活躍と救急隊員のレベルアップを図るため、令和6年度に計36回の指導救命士派遣研修を実施しました。

本研修は、指導救命士を各署所に派遣し、救急車同乗実習を行うものですが、救急事案を受令するまでの間は、想定訓練や座学などを実施し、限られた時間を有効活用することで、より効果的・効率的な研修となるよう努めました。

また、昨年10月に改定された病院前救護活動プロトコルの円滑な運用にあたり、救急隊員が抱く疑問の解消に資するなど、非常に良い機会となりました。

今後も様々な訓練や研修を実施し、救急業務の高度化を推進することで、一人でも多くの市民を救命できるよう邁進してまいります。



摂津市消防本部 防災学習・災害活動車が 交付されました

令和7年1月24日、公益財団法人日本消防協会より摂津市消防団に「消防団防災学習・災害活動車Ⅱ」が交付されました。

この車両は、消防団を中心とした地域の総合的な防災力の充実強化を図ることを目的として、平時には地域住民に対する防災学習の場で活用され、災害時には人員や資器材の搬送に使用されます。車両は4WDで10人乗りの1BOXタイプで、耐久性やオフロードでの走行性に優れ、さまざまな用途に対応可能です。

さらに、煙体験ハウス一式、消火訓練資器材、AEDトレーナーセット、発電機および投光器等も同時に交付され、これにより一層充実した防災活動が期待されます。今後、この車両は災害現場での現場活動部隊へのサポートや地域住民の防災意識向上のための様々な消防訓練に活用される予定です。

摂津市消防団は、この新しい防災学習・災害活動車の導入を契機に、これからも市民の皆様の安全・安心を守るために尽力していきます。

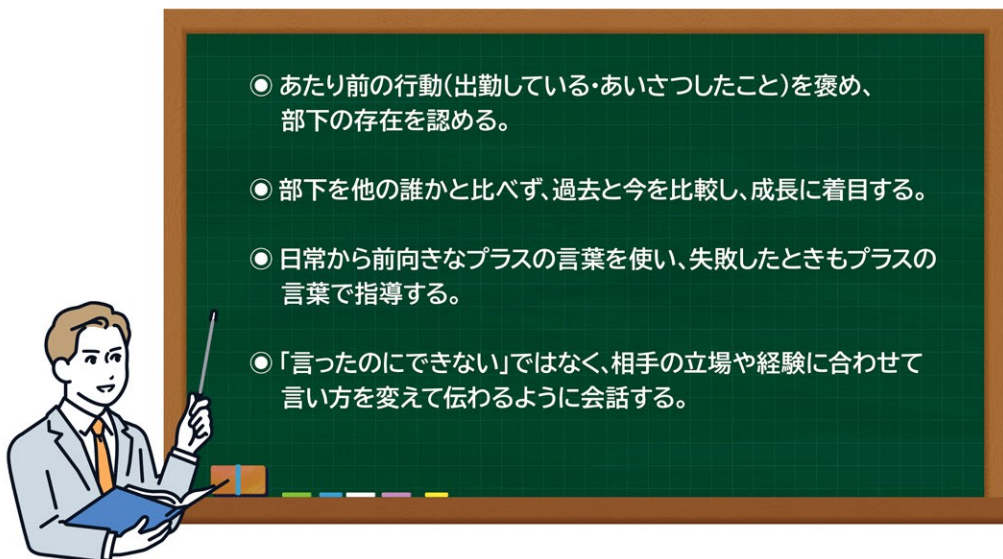
人材育成の ヒント Vol.3

はじめての 部下指導

ーリーダーとしての心構えー

大阪市消防局で培われてきた多くの技術・知識は、先輩方の指導のもと、脈々と受け継がれてきたものです。皆さんも自ら学んだことを次世代へ伝える指導力（聴く力、伝える力、人柄）を身に付け、リーダーとしての基礎を築くことが必要となります。

早ければ採用3年目頃から、後輩の指導に関わる職員もいますが、若年期の「リーダーの芽」は、まだまだ新芽です。次のスキルを身に付け、新芽から大樹へと成長してくださいね。



- あたり前の行動(出勤している・あいさつしたこと)を褒め、部下の存在を認める。
- 部下を他の誰かと比べず、過去と今を比較し、成長に着目する。
- 日常から前向きなプラスの言葉を使い、失敗したときもプラスの言葉で指導する。
- 「言ったのにできない」ではなく、相手の立場や経験に合わせて言い方を変えて伝わるように会話する。

◆ プラスの言葉

プラスの言葉は、自らだけでなく周囲の人にも良い影響を与えることができます。より良い職場環境をつくることに繋がりますので、日常会話で使えるようトレーニングが必要です。

例:「挑戦する価値があるね」「君ならできる」「素晴らしい、ありがとう!」



担当者Kのよもやま話

前向きな、背中をひと押ししてくれる言葉を掛けられると、やる気が満ちてきたり、勇気や元気が出てきたりしませんか?「言葉が脳を変える」というのは、脳科学の世界では有名な話だそうです。「プラスの言葉」は「考え方」をプラスに変え、「行動」をプラスに変え、そして「結果」をプラスに変えていきます。訓練などでも、ポジティブな声掛けをして、良い結果が出るよう取り組んでみましょう!

～地域防災の輪、ひろがっています～

大規模災害の発生時に求められる、行政機関と地域の連携。このコーナーでは、いざという時の地域防災力向上のために、大阪市消防局が行っている様々な取組を紹介します！

西淀川区ジュニア防災リーダークラブ 研修会を実施！

西淀川区ジュニア防災 リーダークラブとは？

西淀川区ジュニア防災リーダークラブは、地域防災力の向上を目的として、令和6年12月22日(日)に発足。将来、防災の担い手となる若い世代を対象に、災害時の行動力や判断力を養うための防災教育を行っています。

事務局は、西淀川区役所防災安全課にあり、区内在住または区内の学校に通う中学生・高校生47名が登録されています。

第1回研修会を開催！

寒さの残る令和7年3月2日(日)、高度専門教育訓練センターにおいて、クラブ員にとって初となる総合的な研修会を、西淀川区役所地域支援課と合同で実施しました。研修会では、まず防災に関する講義があり、基本的な無線機の使い方について説明を受けました。参加者は、初めて触れる無線機に苦戦しつつ、「どうすれば相手が聞き取りやすいかな？」と試行錯誤していました。煙中体験では、実際に訓練棟の中で枯れ木などを燃焼させ煙の動きを確認するとともに、空気層を崩さ

ず低い姿勢で避難することを学び、炎や煙の恐ろしさを体感しました。さらに、訓練標的ではない本物の炎に対する消火訓練や、可搬式ポンプによる放水訓練といった実践的な訓練も行いました。CSR訓練施設(地震などを想定し、瓦礫を組み合わせ、狭い空間や多くの障害物の中で救助活動する施設)では、テコの原理などの説明を受けた上で、ジャッキやボールといった救助資器材を活用した訓練も実施。瓦礫に挟まった人を救出するという想定でしたが、中高生ならではの柔軟な発想で取り組む姿も見られ、頼もしく感じました。時折笑顔を交えながら、終始メリハリと活気あふれる訓練となりました。参加者も指導にあたった職員からも、自然と笑みがこぼれていました。



煙中体験



消火訓練



CSR訓練施設における救助訓練



避難訓練



可搬式ポンプ放水訓練

今後の展望

継続は力なり。今後も定期的に訓練を行い、将来的には災害時における応急救助活動や、避難所運営支援に広げることも期待されます。ジュニア防災リーダークラブの訓練を通して、消防職員も一緒に切磋琢磨し、刺激を受けながら地域防災力の向上を目指し、災害に強いまちを目指していきます。

住宅用火災警報器で歌おう♪

全国的に住宅火災件数と住宅火災による死者数は、住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置義務化がスタートした平成18年以降、減少傾向にあります。さらなる火災による死者数の低減を目指して取り組んでいかなければなりません！そこ♪で♪、私たち「住宅用火災警報器設置・維持管理促進PRソング制作委員会（通称：住促P委）」では、本市にふさわしい住警器PRソングを作成するため、全国の消防本部で制作されている住警器PRソングを調べたところ、あるわあるわ、ということで……。

今月ご紹介するのは、宮城県石巻地区広域行政事務組合消防本部の「僕は住警器」です。一般住宅への住警器の設置が義務化されてから14年経過した2023年に、本体交換等の維持管理を促進するために制作されたものです。作詞・作曲は、住警器広報キャラクターである住警器マン2号が担当。楽しみながら住警器の設置・維持管理の大切さを学べる内容となっています。

同本部では「石巻広域消防」に関する広報を目的として、公式Youtubeチャンネル「ISHINOMAKIF.DネットTV」を運営し、他にもたくさんの動画を公開されています♪



☆石巻地区広域行政事務組合消防本部
〒986-0805
石巻市大橋1丁目1-1
消防本部ウェブサイト <http://isyoubou.jp/>



僕は住警器

作詞・作曲／住警器マン2号

みんなが寝ている時だって 僕はいつでも見守る 何よりも一番に君に知らせるよ
火事は無い方がいい 誰も悲しまない方がいい それはみんなも同じ気持ちでしょ？
僕をつけた方がいい 命は何にも代えられない それは皆だって分かっているはずでしょ？
ほんの少しの時間と ほんの少しの費用で 暮らしに大きな安心を与えます
壁に取りつけてもいいよ僕は火災警報器
家族みんなの命の見張り役だよ

いつかは壊れる日が来るよ 君が気付かないうちに
そのいつかは今日かも明日かも知れない
点検をした方がいい 10年で換えた方がいい いざという時鳴らなきゃ意味が無い
ボタンを押すだけでいい 紐を引いてみるだけでいい それは誰にだってできることだから
火災予防運動のたびに点検してほしい
日頃の備えが安心を作ります できれば連動がいいよ僕ら火災警報器
家族みんなの命を守りたいのです

取り換えは連動でいかが？僕だって繋がっていたい
気になるあの子は台所 いつでも連絡できるように
本当はない方がいいよ 僕の活躍なんて 君の穏やかな日々が続くように
忘れないでね住宅用 僕は火災警報器
家族みんなの幸せの見張り役だよ

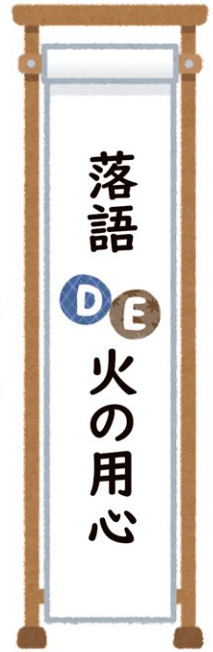


住促P委
委員長

アコースティックポップでいい
感じ(^_^♪ 1番は「設置」、
2番は「維持・管理」のことを
歌ってるのね。住警器が1人称で
語っているところがポイントかな。
参考にしまへす。



【石巻広域消防公式チャンネルISHINOMAKIF.DネットTV】
<https://www.youtube.com/@ISHINOMAKIFDTV/videos>



今回のお噺 『延陽伯』 えん よう ぱく



皆さん、こんにちは。そなえ亭恐妻でございます。今月も、どうぞお付き合いをお願いします。

さて、今回ご紹介するのは「延陽伯」というお噺です。

八五郎という独り者の男が主人公。ある日、大家から縁談を持ちかけられますが、お相手の娘は器量よしのうえに夏冬ものもそろえているという願ったり叶ったりの縁談話。あまりにも好条件なので、不審に思った八五郎が大家さんに聞いたですと、娘さんにはやはり難点が。幼少の頃に京都のお公家さんのところへご奉公へ行っていたんで言葉が丁寧過ぎるというのが唯一の欠点。八五郎は「なんだ、それくらいのことか。」と喜んで嫁にもらうのですが…。



さて、お噺の冒頭で登場するのが「高津宮・高津神社（こうづぐう・こうづじんじや）」です。「高津の宮の昔より」と大阪市歌に唱われ、これまでにご紹介した「高津の富」や「親子茶屋」のほか「崇徳院」に「いもりの黒焼」、「高倉狐」など、数多くの上方落語の舞台になっている高津宮は、「高津さん」の愛称で親しまれ、古くから大阪の文化の中心として賑わってきました。毎年7月の夏祭では、さまざまな演芸や落語会が奉納され、絵馬殿では「だんじり囃子」にあわせて龍おどりが賑やかに行われます。

わらわこんちよう、たかつがやしろにさんけえなし、まえなるはくしゅばいさてんにやすろお、はるかさいほうをながむれば〜*



☆高津宮・高津神社

中央区高津1丁目1番29号。平安前期の866年。大阪隆盛の礎を築いたとされる仁徳天皇が定めた都、高津宮跡に同天皇を祀る社として建立されたのがはじまり。現在の地には1583年、豊臣秀吉が大坂城を築く際に遷座されました。松屋町筋下寺町交差点と谷町筋谷九交差点の間あたりをひと筋北。

*「私は今朝、高津の宮さんへご参詣に参りました。その前に白酒を売っている茶店があって、そこで腰を下ろして遥か西の方を眺めていると〜」と言っています。

プチ上方言葉講座

「せこい」

【意味】

悪い・醜い・少ない・ずるい
考え方や手法がけちくさい など

【使用例】

「あんた、そんだけ願ひ事したわりにはお賽銭10円で、かなりせこいで。」



さてさて、今月の消防落語は、そなえ亭南海の「火事の引越」です。若手とは少し違う、落ち着いた趣のある一席です。令和6年11月に「OBCラジオまつりふれあい広場」に出演した際の高座をアップしていますので、是非、ご覧ください。



防火・防災管理等オンライン講習について

令和6年度から、これまでの対面での講習に加えて、甲種防火管理新規オンライン講習「オンライン動画による講習と対面による実践講習を組み合わせたハイブリッド型講習」を開始しました。令和7年度からは、新たに防火・防災管理新規オンライン講習が追加され、今後も各種防火・防災管理等オンライン講習の開始を予定しています。

ここでは防火・防災管理者の役割、及び防火・防災管理等オンライン講習の申込方法と実施要領を取り上げます。

防火管理者・防災管理者とは

防火管理者

多数の者が出入りする建物の管理権原者（建物の所有者・管理者・占有者などのうち、管理についての権原を有する者）に対し、防火管理の中核を担う防火管理者を選任し、消防計画を作成させ、その計画に基づく消火・通報・避難訓練の実施などの防火管理に必要な業務を行わせることを、消防法で義務付けています。

防災管理者

高層・大規模建物の管理権原者に対し、防災管理の中核を担う防災管理者を選任し、防災管理に係る消防計画を作成させ、その計画に基づく避難訓練の実施など、防災管理上必要な業務を行わせることを消防法で義務付けています。なお、防災管理者は、防火管理者と同一の者でなければなりません。

防火・防災管理者になるためには

防火・防災管理者になるためには、消防法で定められた資格が必要となります。この資格を取得する方法の一つが、「防火・防災管理等講習」です。

防火・防災管理等講習の申込み方法

防火・防災管理等講習の申込みは、WEB（行政オンラインシステム）のみで受け付けています。申込締切は講習日の2週間前ですが、満席になり次第、受付終了となります。インターネット環境がない方に対しては、職員がWEB申込を代行しています。

ホームページの「申請できる手続き一覧」から、「個人向け手続き」もしくは「事業者向け手続き」を選び、キーワード検索で「消防講習」と入力。検索結果から「防火・防災関係講習会の申込」に進む。

① 以下の項目から希望する講習会の種別を選択

- ・甲種防火管理新規講習
- ・乙種防火管理講習
- ・防火防災管理新規講習
- ・甲種防火管理新規オンライン講習
- ・防火・防災管理新規オンライン講習
- ・甲種防火管理再講習
- ・防災管理新規講習
- ・防火防災管理再講習

② 希望する講習会の日程を選択。

③ 必要事項を入力

④ 申請内容を確認(必ず申込番号を控える)

⑤ 申請受付メール(自動返信)を受信

⑥ 手続き完了メールを受信

講習会申込完了

行政オンラインシステムによる講習会申込手続きの流れ

防火・防災管理等オンライン講習の流れ

防火・防災管理等オンライン講習の申請（オンライン）から、オンラインによる講習を経て実践研修を修了するまでの流れをまとめます。

令和7年度防火・防災管理新規オンライン講習日程

令和7年度の防火・防災管理新規オンライン講習の日程は表の通りです。実践研修の会場はすべて阿倍野防災センターとなっています。なお、オンライン講習と併せて、従来の

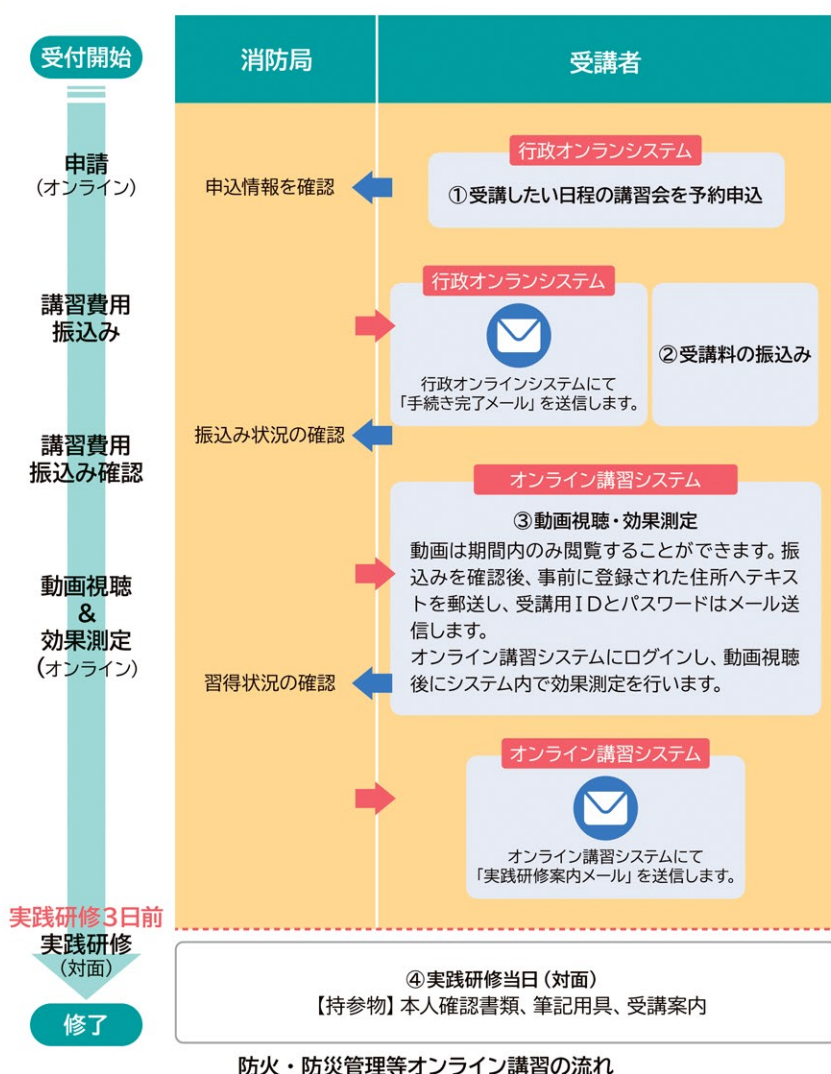


表 令和7年度防火・防災管理新規オンライン講習日程表(令和7年7月～9月)

実施回	申込受付期間	振込締切日	動画視聴期間	実践研修日時
第20回	2月3日(月) ～6月10日(火)	6月17日(火)	7月13日(日) ～7月22日(火)	7月26日(土) 14時～16時
第22回	2月3日(月) ～6月25日(水)	7月2日(水)	7月29日(火) ～8月7日(木)	8月11日(月) 14時～16時
第27回	2月3日(月) ～7月21日(月)	7月28日(月)	8月23日(土) ～9月1日(月)	9月5日(金) 14時～16時
第31回	2月3日(月) ～8月5日(火)	8月12日(火)	9月7日(日) ～9月16日(火)	9月20日(土) 14時～16時



防火・防災管理等
講習のご案内

対面講習も引き続き開催しています。
防火・防災管理等講習の日程等の詳細については、大阪市公式ホームページよりご確認ください。

株式会社 栗本鐵工所 (加賀屋工場・住吉工場)

株式会社栗本鐵工所は、明治42年の創業以来、「水と大気と生命の惑星、地球を大切に、人間社会のライフラインを守る」という企業理念のもと、お客様満足第一のモノづくりに徹して、社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に貢献している企業です。

加賀屋工場、住吉工場は、住之江自衛消防協議会の発足当初からご加入いただき、「自分の職場は自らが守る」という自衛消防隊の理念のもと自主防災力の向上に積極的に取り組んでいます。特に、実践的な消防技術が求められる自衛消防技術練成会において両工場は、すべての種目で優勝を競い合うという高い消防技術を有しており、企業全体

自衛消防隊紹介

加賀屋工場
ひちの七野 隆志 隊長



住吉工場
永井 義郎 隊長



としての高い防災意識は、他の事業所の模範となっています。また、住吉工場は令和6年3月に災害対策に必要な協力を行う「住之江区防災パートナー」に登録し、区の地域防災を支えています。

定期的に消火訓練を行い、従業員の初期消火技術の向上を目指しています。今後も、地震・災害に対しての予防処置を再確認し、安全で安心して働ける工場づくりに努めてまいります。(七野隊長)

毎年防災訓練・消防訓練を実施し、自衛消防に対する意識向上と啓発に努めております。今後も地域防災活動へ積極的に参加してまいります。(永井隊長)

隊長コメント

女性防火クラブだより

阿倍野区

未来の安全を築く

阿倍野区では、10名の女性支部長のもと総勢145名のクラブ員が、地域を守るため日々奮闘しています。この活動は、私たちの安全に欠かせない地域全体の防火意識を高める重要な役割を果たしている」と自負しております。

小中学校の防火教育、地域の防災訓練への参加、応急手当の普及啓発活動、住まいの防火防災診断など、クラブ員は常にリーダーシップを意識し、情熱をもって活動しています。特に、地域の子どもたちや住民に対して行う防火教育は、「未来の安全を築く」をスローガンに、阿倍野区の未来の地域安

全への重要なステップとなっています。

今後とも、女性防火クラブ員の活動がさらに広がり、より多くの人々が防火の重要性を理解し、本活動へ参加いただけることを願っています。



現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中でも救急隊員が活動する現場において知っておくべき知識や内容を紹介していきます。今月は心電図の異常所見に関する問題です。傷病者のバイタルサインのほか失神の原因検査に必要な知識として心電図を正しく理解するために早速解いてみましょう！

第46回（令和5年3月）D問題

78歳の女性。夜食を食べている際、急に意識を失ったため、家族が救急要請した。

救急隊到着時観察所見：意識清明。呼吸数16/分。脈拍90/分。血圧120/80mmHg。SpO₂値98%。特に症状を訴えない。過去にも同様の発作を経験している。心電図モニター波形を別に示す。不整脈と高脂血症の薬を服用している。

この病態に関係すると考えられる、この心電図上の異常所見はどれか。1つ選べ。

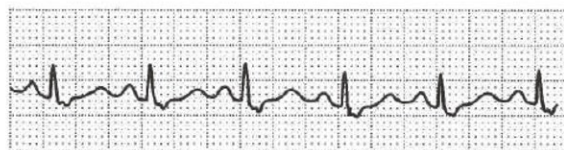
- 1 P波消失 2 異常Q波 3 ST上昇 4 テント状T波 5 QT延長

ヒントレベル



心電図の基本波形

- P波 → 心房の興奮
- PQ間隔 → 房室伝導時間
- QRS波 → 心室の興奮
- T波 → 心室興奮の回復
- QT間隔 → 電氣的収縮時間



心電図モニター波形

ヒントレベル



心房細動

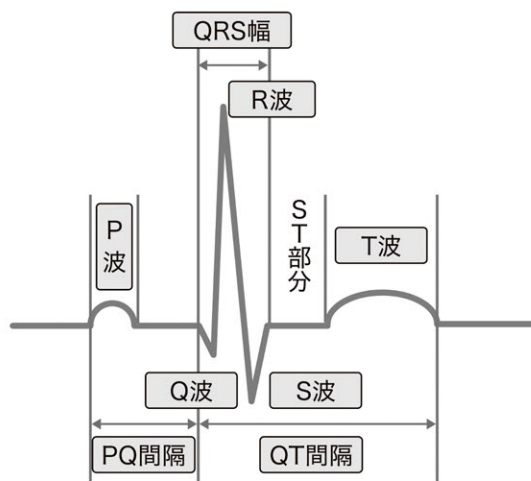
洞結節から発した電氣的刺激が心房内に伝播する（脱分極）のを示す陽性（上向き）の波であるP波が正常な心房収縮がない心房細動では欠損する。

ヒントレベル



心筋梗塞

ST上昇型急性心筋梗塞では時間の経過とともに心電図所見が変化していく。発症直後にはT波が増高し、数時間後にはST上昇、12時間後では異常Q波がみられる。



心電図の基本波形

ヒントレベル



QT延長症候群

遺伝性疾患や電解質異常、薬剤などの影響でQT間隔が延長することがあり、トルサードポアンツ型の心室頻拍や心室細動を生じやすく、失神や痙攣の原因となるほか、突然死のリスクがある。QT間隔は心拍数が増えると短縮するため、補正QT間隔（QTc）を用いる。

解答・解説

解答 5. QT延長

心電図は、すべてのQRS波がP波を伴っており、RR間隔は規則正しく並んで不整はない。異常Q波、ST上昇、テント状T波はいずれも認めない。QT間隔は実測で11mm（0.44秒）であり、RR間隔から補正QT間隔を計算すると0.57秒となり、延長している。RR間隔の midpoint よりも右側にT波がある場合はQT延長と判断してよい。

（参考・引用 株式会社へるす出版「第46回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」）

消防 漢字 ガール

Fire Fighter Kanji Girl

国立大学文学部卒で大阪市内の某消防署に勤務する、漢字を愛してやまない消防女子「淀橋文子」が防火防災に関する「漢字」の意味や成り立ちを解説する「消防漢字ガール」。さて、今月の漢字は…。

【雨】

意味：あめ。あめふり。あめのように降り注ぐもの。



皆さん、こんにちは、「消防漢字ガール」の淀橋文子です。今月の漢字は「雨」。「雨」は、天の雲から水滴が滴(した)り落ちる様子を表した象形文字で～す。

音読みは「ウ」、訓読みは「あめ」、「あま」、常用漢字表外では「小雨(こさめ)」や「霧雨(きりさめ)」のように「さめ」とも読みます。画数は「8画」、部首は「あめかんむり(雨冠)」で、ご存知のとおり、雲・雪・霧・霞など、天候や気象状況を表す漢字の基になっていますよね。

天の雲から水滴がはたたり落ちる様子

田→雨→雨→雨



ところで、最近はニュースなどで「線状降水帯」という言葉を耳にすることが多くなりました。線状降水帯の停滞が集中豪雨を引き起こし、毎年のように甚大な災害が発生しています。地球温暖化の影響とも言われる線状降水帯ですが、発生メカニズムに関してはまだまだ未解明な点が多いそうです。



ということで、そんな「線状降水帯」の発生予測は勿論のこと、雨雲レーダーで日頃の雨雲の状況や台風の予報円もリアルタイムで確認できる「大阪防災アプリ」をご紹介します。「大阪防災アプリ」は、災害時における避難所の開設状況、プッシュ通知による防災情報の配信、60分前から15時間先の未来の降水強度分布予測や台風の進路予測などを閲覧することができる雨雲レーダー。もしもの時に備えて避難場所への経路や浸水想定区域等を確認できる防災マップのほか、ブザーやスマホライトなど、役立つ機能を備えた多言語対応のアプリケーションです。

わたしもインストールしてますよ。皆さんも、是非、使ってみてください。じゃあねー。

もしもの為に、今始めよう /

大阪防災アプリ

osaka bousai



大阪防災アプリ



【今月の警防担当司令の迷言】

「淀橋。来月の合同訓練の資料、パワーポインターで作ってくれたかいな？」

「はい、作成しました。」(司令、何度も言いますが「パワーポ・イ・ン・ト」ですよ。)



心の健康を考える



こんにちは！新緑が美しい季節になりましたね。

忙しい毎日の中で、心の健康を意識することはとても大切です。今回は、日常生活に取り入れやすい「心の健康を整える方法」の一つとして「マインドフルネス」についてご紹介します。

マインドフルネスとは

仏教の瞑想に由来する概念で、「今この瞬間」に注意を向ける状態のことを指します。過去や未来のことを考えず、現在の瞬間に意識を集中させることで、心の平穏を得ることができます。

効 果

ストレス軽減：ストレスの原因となるネガティブな思考を和らげ、心を落ち着かせる効果があります。
集中力の向上：現在の瞬間に集中する練習を続けることで、日常生活でも集中力が高まります。
感情の安定：自分の感情を客観的に観察できるようになり、感情の波に振り回されにくくなります。
睡眠の質向上：リラックス効果があるため、睡眠の質向上が期待できます。

実践方法（呼吸法）

1 静かな場所を見つける

できれば静かで落ち着ける場所を選びます。椅子に座るか、床に座ってもかまいません。背筋をリラックスした姿勢を保ちます。

2 目を閉じるか、半開きにする

目を閉じることで、外部の刺激を減らし、内面に意識を向けやすくなります。半開きで床を見つめるのも良いです。

3 自然な呼吸に注意を向ける

深呼吸をする必要はありません。自然な呼吸のリズムをそのまま観察します。吸う息と吐く息に意識を集中し、お腹や胸が膨らんだり縮んだりする感覚を感じます。

4 思考が浮かんできたらそれに気づく

呼吸に集中している間に、思考や感情が浮かんでくることがあります。

それに気づいたら、ただ「今、こういう思考があるんだな」と認識するだけにします。ジャッジしたり、追いかけたりせず、呼吸に意識を戻します。

5 数分間続ける

最初は数分から始めてみましょう。慣れてきたら少しずつ時間を延ばしてみます。



心の健康を整えるためには、日常生活の中で少しずつ意識的に取り組むことが大切です。
自分に合った方法を見つけて、心豊かな毎日を送みましょう。

表彰

令和7年3月5日付け

非番日等における救急活動(賞与)

消防士 篠原 翔吾

平野消防署 1部 警防担当

消防士 青木 駿和

令和6年9月28日、奈良県北葛城郡の店舗において、バイスタンダーによりCPRを施されている傷病者を発見したため、直ちに自身が消防職員であることをバイスタンダーに告げ、CPRの協力を申し出た。胸骨圧迫を行った後、既にバイスタンダーにより接続された自動体外式除細動器で除細動を実施したところ、傷病者に自己心拍が出現し、意識状態も回復した。その後、到着した救急隊に状況を正確に伝え、円滑に引き継いだ功績による。

救急活動(賞与)

西消防署

2部 新町小型タンク小隊
消防司令 中谷 哲也
消防士長 原谷 直努
消防士 竹之下 倅太

令和6年9月28日、西区のホテルの一室で発生した救急事案において、現場到着後、傷病者がCPAであることを確認したため、直ちにCPRを開始するとともに、除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、CPRを継続した。その後、救急隊が到着したため、CPRを継続しながら搬出協力を実施した。なお、傷病者は搬出途中において自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

平野消防署

2部 平野第1救急隊
消防司令 熊澤 勉
消防士長 近藤 宏昌
消防士 水谷七央紀
令和6年11月5日、東住吉区の公

園で発生した救急事案において、現場到着後、傷病者がCPAであることを確認したため、直ちにCPRを開始した。除細動パッドを貼付し心電図を解析したところ心室細動の波形を確認したため除細動を実施するとともに、CPRを継続しながら傷病者を救急車内へ収容した。救急車内収容後、食道閉鎖式エアウェイによる気道確保及び静脈路確保を実施した。薬剤投与後の解析で、傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現したため、医師からの助言をもとに人工呼吸のみを継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継ぎ、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

此花消防署

2部 西九条小型タンク小隊
消防司令 加賀 朋司
消防司令補 領木 啓之
消防司令補 中野 亮
消防士長 谷 潤二郎
令和6年11月30日、此花区の作業場で発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がCPAであることを確認したため、

直ちにCPRを開始するとともに、除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、CPRを継続した。救急隊が到着後もCPRを継続し、2回目の除細動を実施したところ、傷病者は現場において自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

北消防署

1部 北救急隊
消防司令 岡下 直樹
消防士長 松野 将矢
消防士 諏訪 友紀

令和6年12月4日、北区の駅構内で発生した救急事案において、現場到着時、先着の救命連携活動隊が、傷病者に対し既にCPRを実施しており、傷病者がCPAであることを確認した。自隊の自動体外式除細動器を装着し、CPRを継続したところ、傷病者に自己心拍が出現した。静脈路確保後、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ補助呼吸を継続しながら搬送を開始したところ、病院到着前に傷病者は意識状態も回復した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

北消防署

1部 北小型タンク小隊

消防司令補	堀尾 晴久
消防士長	永田 優樹
消防士長	小林 翔平
消防士	稲山 海輝

令和6年12月4日、北区の駅構内で発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し、自動体外式除細動器の装着及び胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がCPRであることを確認したため、直ちにCPRを開始した。救急隊到着後、救急隊の自動体外式除細動器を装着し、CPRを継続したところ、傷病者に自己心拍が出現した。さらに、傷病者は病院到着前に意識状態も回復した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

平野消防署

2部 長吉指定消火隊

消防司令	石井原博臣
消防士長	宮田 将嗣
消防士長	時枝 勇気
消防士	守谷 章

東住吉消防署

2部 杭全救急隊

消防司令補	倉本 章平
消防士長	和田 洋明
消防士	白石 善己

令和6年12月29日、平野区の路上で発生した救急事案において、現場到着時、先着の救命連携活動隊が、傷病者に対し既にCPRを実施しており、傷病者がCPRであることを確認した。自隊の自動体外式除細動器を装着し、傷病者を救急車内へ収容した。CPRを継続しながら気管挿管による気道確保及び静脈路確保を実施したところ、傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現したため、補助呼吸を継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継ぎ、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

令和6年12月29日、平野区の路上で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者は意識レベルJCS30であったため、回復体位を取らせ呼吸状態の改善を試みたが、容態が急変しCPRとなった。直ちにCPRを開始するとともに自動体外式除細動器を装着した。救急隊到着

後、傷病者を救急車内へ収容し、CPRを継続しながら救急隊が行う気管挿管による気道確保及び静脈路確保の処置協力を実施した。なお、

傷病者は病院搬送前に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

住吉消防署

2部 苅田小型タンク小隊

消防司令補	武田 征士
消防士長	森田 誠
消防士長	砂川 光
消防士	大塚慎太郎

令和7年1月15日、住吉区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、直ちに出火室のある7階において放水体制を確立した。近隣住民から出火室に要救助者がいるかもしれない旨を聴取したため、炎と黒煙が激しく噴出する出火室へ室内進入し、消火と検索活動を同時に実施した。室内において倒れている要救助者1名を発見したため、後着の救助隊と協力し、徒手により迅速に屋外へ救出した功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

西成消防署

1部 海道指定消火隊

消防司令	野中 修二
消防司令補	米倉 知克
消防士長	松本 健
消防士長	久保 俊祐

令和7年1月21日、浪速区の遊技場で発生した火災現場において、災害点北東側に直近部署後、関係者から火元建物に要救助者はいない旨を聴取したため、警防本部へ即報するとともに、早期に2線2口の放水体制を確立した。火元建物北側への延焼阻止を実施すると同時に、火元建物1階へ屋内進入し主火力を制圧した。また、その後はアーケード上から、火元建物の3階及び4階への放水を実施し、火勢が収まった段階で火元建物の3階へ屋内進入し主火力を制圧した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

西成消防署

1部 海道小型タンク小隊

消防司令補 上嶋 美久
消防司令補 野木 伸悟
消防士長 森本里世生
消防士長 細野 聖太

令和7年1月21日、浪速区の遊技場で発生した火災現場において、災害点北東側に現場到着後、事前任務通り直近隊への中継送水を実施するとともに、早期に火元建物の南側において1線1口の放水体制を確立した。火元建物の南面では2階から火炎及び黒煙が噴出している状況であり、路上からは有効な放水を実施することが困難と判断したため、折りたたみ式はしごを架梯して梯上放水を実施し、火勢が収まった段階で火元建物の2階へ屋内進入し主火力を制圧した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

浪速消防署

1部 浪速出張所

小型タンク170小隊

消防司令補 鷲尾 拓哉
消防士 山下 亘輝
消防士 水口 暉歩
消防士 竹林 拓貴

火災防ぎよ活動(賞与)

西成消防署

1部 西成小型タンク小隊

消防司令 高田 敦史
消防士長 平田 雄司
消防士長 嬰木 亮吉

消防士長 古井 凌平

令和7年1月21日、浪速区の遊技場で発生した火災現場において、災害点南側に現場到着後、火元建物の南側建物に延焼危険があったため、火元建物の南側建物へ屋内進入し、2階において壁の破壊作業と消火活動を繰り返し続けた。その後は、火元建物の3階及び4階へ転進し、消火活動を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

浪速消防署

1部 浪速出張所

小型タンク86小隊

消防司令補 富永 英一
消防士長 大石 義明
消防士長 石井 重則
消防士長 植木 昌紀

建物の西側への延焼阻止を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

令和7年1月21日、浪速区の遊技場で発生した火災現場において、災害点北側に現場到着後、早期に放水体制を確立し、火炎が噴出する火元建物の西面及び火元建物の北面の3階開口部に放水を実施した。さらに火勢の状況及び他隊の筒先配備状況に応じて臨機に筒先転進を行い、火元建物の北側への延焼阻止を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

予防業務の推進(賞与)

西淀川消防署

予防担当

消防司令 奥村 典子
消防司令補 山崎 宏彰
消防司令補 竹本 幸司
消防司令補 石川 理輝
消防士長 鐵井 将吾
消防士長 岡嶋 健史
消防士長 増田 稜

火災防ぎよ活動(賞与)

天王寺消防署

1部 天王寺小型タンク小隊

消防司令補 奥田健太郎

消防士長 難波 拓人
消防士 萬木 快生
消防士 遠藤 陽菜

令和7年1月21日、浪速区の遊技場で発生した火災現場において、災害点南側に現場到着後、火元建物の南側建物に延焼危険があったため、火元建物の南側建物へ屋内進入し、2階において1線2口の放水体制を確立した。小屋裏及び壁の破壊作業と消火活動を繰り返し続けた。また、1線のホースで東側開口部への排烟のための放水を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

複数の危険物無許可貯蔵事案に対して、前例が少なく困難を極めるなか、危険物算定を確実に実施し、速やかに除去命令を発動して全ての危険物除去を実現させた。是正後も再

び消防法令違反が発生しないよう追跡指導を行い、新たな貯蔵場所の建設計画や警察等関係機関との連携により再発防止対策も実現させるなど、違反是正の重要性を深く認識し、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」の実現に大きく寄与した功績による。

予防業務の推進(賞与)

西成消防署

予防担当

消防司令	和田 有樹
消防司令補	藤守 孝次
消防司令補	伊藤 峰久
消防司令補	小寺 雄大
消防司令補	藤田 将
消防司令補	西 聖人
消防司令補	池添 圭祐
消防士長	四宮 達也
消防士長	庄子 哲徳
消防士	光田 七夢

必要な届出がなされていない高齢者福祉施設に対する福祉局との合同立入検査により認知した消防用設備等の未設置事案に対し、関係者が激しく抵抗し困難を極めるなか、粘り強く指導を継続し、違反是正させた。

また、西成区内で発生した火災について、同様の火災発生を防止するため、火災発生のおそれのある器

具の使用を停止するよう警告し、再発防止対策を指導するとともに、火災現場と同一敷地内において認知した危険物無許可貯蔵事案に対して、除去命令と公示を行い、当日中に違反を是正させた。

これらの業務遂行により、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」の実現に大きく寄与した功績による。



※所属・階級は事案発生日現在のものです



救急安心センターおおさか だより

夏がやってきます！



6月に入り梅雨の季節となりました。次第に暑い暑い夏がやってきます！

夏になれば海に行ったり、山に行ったりと楽しみも増えますね！そんな夏に注意したいのが「日焼け」！夏一步手前ということで今回は、昨年救急安心センターおおさか（以下、「当センター」という。）に寄せられた「日焼け」に関する相談を2件紹介します。

①38歳男性（家族からの相談）

2日前に上半身を日焼けし、昨日皮膚科を受診したが本日痛みがひどくなった。
→当センターでは、救急車は必要ないが、今すぐ病院受診が必要との判定。

②33歳男性（本人からの相談）

一昨日および本日、プールに行き日焼けした。肩と背中の痛みが強い。
→当センターでは、救急車は必要ないが、今すぐ病院受診が必要との判定。

日焼けは「日光皮膚炎」と呼ばれ、サンバーンとサンタン の2種類があります。

サンバーンは、紫外線曝露後、数時間～24時間程度で生じる赤くなる日焼け、サンタンは数日してから現れる黒っぽくなる日焼けです。

サンタンに比べサンバーンは肌へのダメージが深刻で、皮膚剥脱や水疱を伴うこともあります。また高熱や頭痛、吐き気などの全身症状を呈することもあり、症状がひどい場合は病院の受診も必要です。日焼けは熱傷のようなものなので、処置も熱傷に準ずるところが多いですが、有効性がはっきり証明されている治療法は存在せず、予防が大切な疾患です。紫外線対策としては①紫外線の強い時間帯を避ける、②日陰を利用する、③日傘を使う、帽子をかぶる、④衣服で覆う、⑤サングラスをかける、⑥日焼け止めを上手に使う、の6つの方法が環境省から提示されていますので参考にしてみてください。

「日焼け」の症状で救急車を呼んだほうがいい？今すぐ病院に行った方がいい？近くの病院はどこ？など困ったときは、救急安心センターおおさか（#7119 または 06-6582-7119）をご利用ください。

救急安心センター着信件数（令和7年4月）

総着信件数（1日当たりの件数）	26,360件（約878件）
対前年同月比	284件



Facebook



X
(旧:Twitter)



Instagram



YouTube



編集後記



表紙のウラ側



写真は大阪・関西万博消防センターで勤務する消防隊員です。ヘルメットとしころに「万博」の文字が見られますね。夢と希望が込められた大イベント。

その会場の安全を守る気概が後ろ姿から感じられます。

梅雨の季節、あじさいが見ごろを迎える頃ですね。皆さまいかがお過ごしでしょうか。私はこの春から編集部に加わり、日々新鮮な気持ちで仕事に励んでいます。

真夜中に聞こえる救急車のサイレン、ニュースで見る救助活動、何気なく見聞きしていた世界に足を踏み入れると、そこには人命を守る「厳しさ」と人に寄り添う「優しさ」をもった方々ばかりでした。そして火災から私たちの生活が守られているのも、防火対策に尽力されている方たちのおかげなのだと思感しました。

最後に一言。蒸し暑い日が増えますが、心と体を整え一緒に乗り越えましょう！（M）

大阪消防

令和7年6月号 第76巻第6号 通巻第903号

発行	大阪消防清風会	編集	大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
企画・監修	大阪市消防局		〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
年間購読料	年間5,940円 (消費税・送本手数料含む)	TEL	06-4393-6036
		FAX	06-4393-5120
制作・販売	株式会社サイネックス	Eメール	pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。



消防事業寄附金
(ふるさと寄附金)
募集

あなたと守る
大阪のまち



大阪市消防局
Osaka Municipal Fire Department

消防局オリジナル寄附特典 消防局見学・体験ツアー

はしご車乗車体験、消防車両の見学・乗車体験、
訓練用水消火器による消火体験、
指令情報センター見学等



参加要件

「大阪市消防事業寄附金(ふるさと寄附金)」へ
15,000円以上のご寄附をいただいた個人の方

申込方法

お申込みはこちらから ➡



第53回消防救助近畿地区指導会 大会記念品 消防職員限定販売

予約販売価格：2,000円（税込）

吸水速乾ドライTシャツ



カラー：ブラック・ネイビー

サイズ：S・M・L・LL・3L・4L

マテリアル：ポリエステル100%

お申し込み方法

- ① 下記のURL又はQRコードより専用フォームにアクセス。
- ② 各本部で集計された商品を専用フォームに入力し注文。
- ③ ご注文後、注文確認メールが届きます。
- ④ 商品とは別に当協会から納品書・受領書・請求書・振込用紙を郵送いたします。
- ⑤ 請求書の記載金額を10日以内に記載している口座に振り込んでください。

注1) 同封の振込用紙で入金の場合は手数料無料、銀行振り込みの場合は振込手数料をご負担ください。

注2) 注文内容の変更の場合はご連絡ください。

注3) 消防本部ごとにご注文ください。（大阪市消防局は各所属毎でお願いします。）

お申込み専用フォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S978838644/>



一般財団法人 大阪消防振興協会 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1丁目24番18号

お問い合わせ先 ☎ 06-6459-1456 (物販担当)

<https://www.ossk.or.jp/>